

国際ロータリー第2760地区

2009年～2010年度のための  
**地区協議会報告書**



2009～2010年度 国際ロータリーのテーマ

——— 地区のテーマ ———

**職業奉仕がロータリーの基盤**

**開催日** 2009年4月19日(日)

**会場** 名古屋国際会議場

ホストクラブ：名古屋名駅ロータリークラブ



# CONTENTS 目次

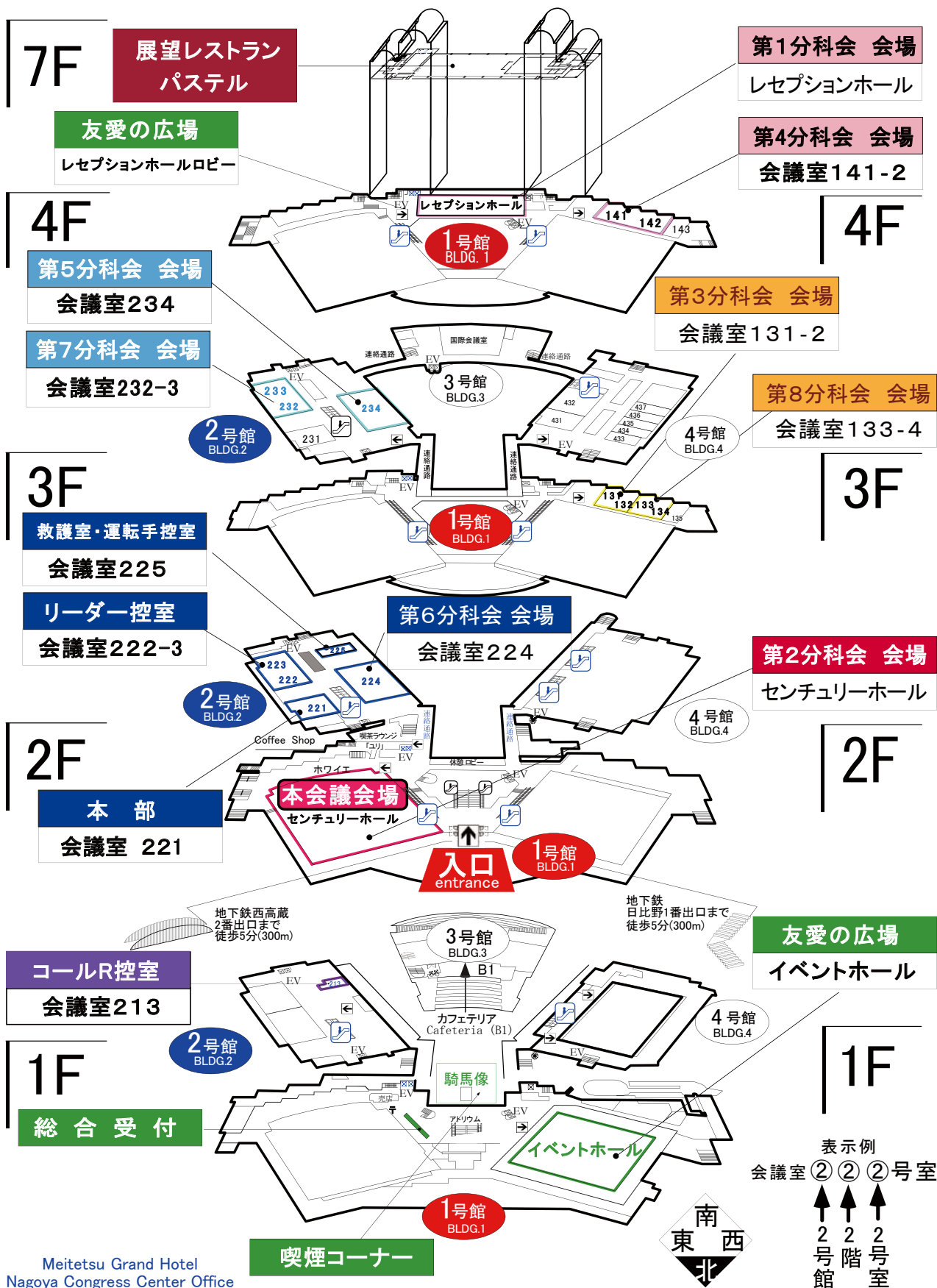
地区協議会プログラム	5
地区協議会開会の言葉 地区協議会実行委員長 高田秀夫	6
歓迎の挨拶 ホストクラブ名古屋名駅ロータリークラブ会長 大川 宏	7
ガバナー挨拶 国際ロータリー第2760地区ガバナー 片山主水	8
次期地区研修リーダー挨拶 パストガバナー 斎藤直美	9
ガバナーエレクト講話 国際ロータリー第2760地区ガバナーエレクト 大澤輝秀	10
第1分科会 プログラム&報告	13
第2分科会 プログラム&報告	15
第3分科会 プログラム&報告	17
第4分科会 プログラム&報告	19
第5分科会 プログラム&報告	21
第6分科会 プログラム&報告	23
第7分科会 プログラム&報告	25
第8分科会 プログラム&報告	27
ガバナー講評 国際ロータリー第2760地区ガバナー 片山主水	29
アルバム	30
資料 特別出席者名簿	34
資料 分科会指導者名簿	36
資料 次期地区委員出席者名簿	39
資料 各クラブ出席者名簿	41
資料 一般会員出席者名簿	49
資料 分区・クラブ別/82RC分科会別登録および出席者数一覧	50
決算報告書	52
次年度地区大会・次年度地区協議会のご案内	53
あとがき	54





国際ロータリー第2760地区 2009~2010年度のための地区協議会

# 会場図



Meitetsu Grand Hotel Nagoya Congress Center Office



# 本会議客席図面

1号館2F センチュリーホール

オーケストラピット分 178席  
(使用時 2,824席)

座席表	1階席	1,510席
	2階席	774席
	3階席	718席

## 1 階 席



## 2 階 席



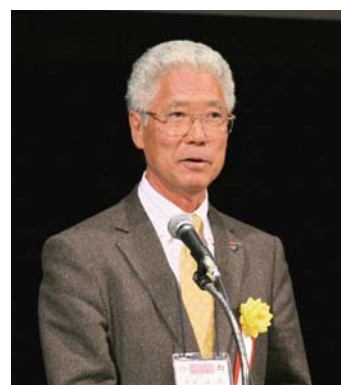
## 3 階 席







# 本会議





# 地区協議会プログラム

開催日時 2009(平成21)年4月19日(日) 9:30~15:00  
 開催場所 名古屋国際会議場  
 ホストクラブ 名古屋名駅ロータリークラブ

## 【受付】(9:30~10:20)

10:15~10:25 コールロータリー名古屋による合唱  
 曲目: ラストワルツ マイウェイ ロータリーソングメドレー

## 【午前の部】

### 本会議 (10:30~12:00)

点鐘	司会	根石 廣正
開会の言葉	ガバナーエレクト	大澤 輝秀
国歌「君が代」斉唱	実行委員長	高田 秀夫
ロータリーソング「我等の生業」	ソングリーダー	小室健次郎
登壇者紹介	司会	根石 廣正
歓迎の挨拶	ホストクラブ会長	大川 宏
特別出席者紹介	次期地区幹事	岩瀬 淳一郎
出席者紹介(分区・クラブ数・会員数)	ホストクラブ幹事	清水 順二
ガバナー挨拶	ガバナー	片山 主水
次期地区研修リーダー挨拶	バストガバナー	斎藤 直美
ガバナーエレクト講話	ガバナーエレクト	大澤 輝秀
ガバナー引継・記念エンブレム贈呈	ガバナーエレクト	大澤 輝秀
地区幹事引継・記念エンブレム贈呈	次期地区幹事	岩瀬 淳一郎
ガバナーズ・クラブバナー引継	ガバナーエレクト	大澤 輝秀
ガバナー・地区幹事へ花束贈呈		
2009~2010年度地区大会ご案内	豊橋RC実行委員長	神野 紀郎
次期地区協議会ホストクラブ発表	ガバナーエレクト	大澤 輝秀
次期ホストクラブ代表挨拶	豊橋北RC会長エレクト	羽田 明弘
諸事のお知らせ	司会	根石 廣正
移動・食事 (12:00~12:50)		

## 【午後の部】

### 分科会 (12:50~14:30)

第1~8分科会

分科会終了移動 (14:30~14:45)

### 本会議 (14:45~15:00)

ガバナー講評	ガバナー	片山 主水
点鐘 (15:00)	ガバナーエレクト	大澤 輝秀



## 開会の言葉



地区協議会実行委員長  
名古屋名駅ロータリークラブ

高田 秀夫

只今から、国際ロータリー第2760地区2009～2010年度のための地区協議会を開催致します。

今年は近年の地球温暖化が顕著に表れ、4月半ばというのにここ熱田の森の新緑がまばゆい、良い季節になりました。本日は、愛知県下81RCから1,556名の登録を得て盛会裡にできますことを厚くお礼申し上げます。

さて、本日の地区協議会は、例年通り、午前の本会議では大澤輝秀ガバナーエレクトより、次年度RI会長のテーマである「ロータリーの未来はあなたの手の手に」に基づく次年度の地区目標についての説明があり、午後からは8つの分科会の研修会でしっかりご討議願ひ、その後、片山主水ガバナーの講評という、3部構成となっております。最後までご協力の程お願い申し上げます。そして、この地区協議会が、我々第2760地区の次年度のクラブ活動の糧となつて、有意義になりますことを祈つて開会の挨拶と致します。有難うございました。



## 歓迎の挨拶



ホストクラブ  
名古屋名駅ロータリークラブ  
会長

大川 宏

ロータリアンの皆さん、おはようございます。私は、本日のホストを勤めさせて頂きます名古屋名駅RC会長の大川宏でございます。この1年間、高田秀夫委員長の下、名古屋名駅RCの会員全員で実行委員会を組織しまして、準備を進めて参りました。昨年度のホストを勤められました一宮RCの皆様のご支援を頂き、また大澤ガバナーエレクト・岩瀬次期地区幹事及び地区役員の皆様のご指導を頂きまして、今日に至りました。この席をお借りしまして、お礼を申し上げます。

また、この協議会のホストを勤めさせて頂きましたことは、名古屋名駅RCとして大変光栄に存じております。しかしながら、私共名駅RC、このような大きな大会をホストさせて頂くのは初めてでございます。不行き届きの処は多々あると存じますが、ロータリアンの友情に免じまして、どうかご寛容をお願いします。また、スムーズな運営をさせて頂けますよう、ご協力をお願いしたいと思います。

最後に、この地区協議会が実り多い会議となることを祈念致しまして、歓迎のあいさつと致します。有難うございました。



## ガバナー挨拶



国際ロータリー第2760地区  
ガバナー

片山 主水

皆さん、おはようございます。「春眠暁を覚えず」を言われる季節に関わらず、時間通りにご参集頂きて有難うございます。これ以上の天気はないという芝生日和であり、一部の方には大変ご迷惑な話でございます。1年の中で一番生命が躍動し、生きる喜びを肌で感じる貴重な時に、どういう因果でありましょうか。こういう暗い中にお集まり頂きて、地区協議会を開くということでございますが、これも地区の年中行事、永年にわたる行事でありますから、ひとつ、運命と諦めて頂きて、時間までお付き合い頂きますようお願い申し上げます。

いよいよ皆様の新年度が始まります。この前に、PETSがございましたが、今日は各クラブの委員長が集まって、協議し、準備する会でございます。大澤船団は、既に航海図、設計図を作り上げておられます。船には油もいっぱい積み込んで準備万端、航海術などを研究しておられる処です。あとは皆様方、各クラブが準備をできるのを待っている。そして準備ができ次第出航するというところであります。

今日、皆様方に研修をして頂くにあたり、ガバナーとしていくつか申し上げたいと思います。1つは各クラブの、自分達の現況を把握して頂きたいということです。その把握方法の1つとして、まずは自クラブの過去を少し遡って頂きたい。5年で良いです。クラブ計画書、Weekly Reportなどを引き出して、過去のことを調べて頂きたい。そして2つめは、クラブの周囲を見回して頂く。お隣のクラブ、やや飛んだ所にあるクラブが、どういうことをやっているかを調べ、参考にする。他クラブと比較する中で、自クラブの現況はどんなものであるかを把握して頂きたいというのがもう1つであります。

2つめに申し上げたいことは、今までロータリーの

長い歴史・経験の中から出てきた、ロータリーの奉仕の精神・考え方。ロータリーの綱領・奉仕の理想・四つのテスト、もっと言えば決議23-34や職業宣言もあります。そうした基本的な事柄を、まずは頭に入れておいて頂きたい。その上で、次年度のRIテーマ・地区の方針等を、今日を始めに皆で勉強しておいて頂きたい。こういうことであります。

3つめに、ロータリーの長期計画がございまして。財団の未来の夢計画は、将来を展望したものであります。そういうことを考え合わせながら、とにかく思考停止をしないように、マンネリに陥らないようにということをおたえず気にかけて頂いて、よく咀嚼し、反芻して頂く。そして、クラブ内で協議をし、計画を練って頂きたい。こう思う訳でございます。

私は昨年、エレクトの時代に江崎ガバナーからこういう俳句を頂きました。PETSの時にも申し上げましたが、「春風や鬪志を抱きて丘に立つ」。これは高浜虚子の俳句であります。紅潮した顔に快い風を受け、ロータリーの丘に立つという景色が浮かぶ句であります。今日の協議会の皆さんにぴったりの句でありますので、またご進呈申し上げます。

今年は更に宮崎地区幹事が、良い一句を新作されました。「麗らかな時は短し春の風」。時は短いぞ、一生懸命やって下さいという激励の意味があると同時に自分も短かった、もう少しやっても良いかなという心が入っているかも知れません。そんな句を頂きました。皆さんに、これもお伝えを致します。

ということで、今日1日、思う存分勉強して頂きて、1クラブ1カラー。皆さんのクラブのカラーというものを念頭に置かれて、皆さん方にとって悔いのない1年を掴んで頂くようにと念願して、ご挨拶とする次第です。有難うございました。



## 次期地区研修リーダー挨拶



パストガバナー  
豊田ロータリークラブ  
齋藤 直美

おはようございます。豊田RCの齋藤でございます。只今、片山ガバナーが、研修リーダーが喋るべきことを皆言って頂いたものですから、私は字余りの部分だけを喋らせて頂きます。

今日は、片山年度から大澤年度へと、ロータリー愛知81のDNAが引き継がれる日であります。新たな年が始まります。1人1人のロータリアンの違いや、クラブ毎のカラーを主張しながら新年度が始まるうとしています。ロータリー・モザイクを織りなしながら、一つの目的、ロータリーの目的へ向かっております。ロータリーの多様性を発揮しながら新年度が始まるうとしています。

この「ロータリーの多様性」とは、誠にきれいな言葉でございますが、時々、言い訳・弁解の場面で使われることが多々あります。地区やクラブのリーダーとなられる皆様、「多様性」という美しき魔の言葉に騙されないで下さい。この言葉は、ばらけた問題をまとめあげる作業を妨害します。確かにロータリーは、人種・言語・文化・業種・年齢・プログラム、そして参加の仕方、あるいはクラブ独自のカラーと、多種多様であります。しかし、多様性で括りますと、何も出てきません。エネルギーは湧いてきません。多様性を容認するには、前提条件が必要だと私は考えています。つまり、色々なロータリー情報を文献で学び、友達と議論した後、多様性の中から自分で1つ選択するという作業がどうしても必要です。同時に、ロータリーとしての共通理解を持つ努力をしなければならぬのであります。

ロータリーとは、ロータリーに入ってから学ぶ、特

殊な、人生観探しの学問だと私は思っております。会長・幹事そして委員長の皆さん、この、準備期間を含めた1年6か月間、改めて深くロータリーと関わって下さい。そのことが、片山ガバナーの言われる「ロータリーに心を」だと私は思います。

ロータリーは、人づくりであると同時に、自分の人生のドラマ作りだとも思われます。だからこそ、1人1人、皆違うのです。ロータリーの多様性を認め、ロータリー・モザイクを織りなし、自己主張するリーダーとして1年半過ごされんことを、そのための有意義な1日となることを祈念しております。

最後にコマーシャルタイムを取らせて下さい。片山ガバナーは「愛知81」と申されましたが、5月24日を境に「愛知82」になります。82番目の新しいロータリークラブ、先程ご紹介がありました中部名古屋みらいRCが誕生し、しらかわホールで認証状伝達式を開催します。時節柄、懇親パーティは行いませんがご容赦頂き、皆様お誘い合わせの上ご参加下さいますようお願い申し上げます。なお本日、会場内でロータリーバッジをつけず、名札だけをつけている若いメンバーがおります。彼らは中部名古屋みらいのメンバーでございます。勝手に判りませんから、皆さんからどうぞ自分の席へと声をかけてあげて下さい。あるいは各分科会におりましたら、どうぞご指導頂ければ幸いですと思っています。

長くなりましたが、これにてコマーシャル入りの研修リーダー挨拶とさせていただきます。どうか、本日1日が、実りある研修会であられますよう、心よりご祈念申し上げます。有難うございました。



## ガバナーエレクト講話



国際ロータリー第2760地区  
ガバナーエレクト

大澤 輝秀

皆さん、こんにちは。ガバナーエレクト・大澤輝秀でございます。今日は大変素晴らしい天候の中、歴代のパストガバナーをはじめ、大変多くの皆様にご出席を頂きまして、1,600名を超える地区協議会が催されることになりました。大変嬉しく思っている次第です。私は1月18日より、サンディエゴでガバナーエレクトとしての研修を受け、そして3月8日から、私の2009～10年度の色々な準備を、ガバナー補佐の皆さん、地区幹事をはじめとする地元の仲間達と重ねて参りました。3月15日にはPETSを行い、3月22日には地区研修リーダーにお集まり頂いて、この4月19日の地区協議会。この第2760地区の素晴らしいリーダーの皆さんにお集まり頂きました。先輩にお伺いすると、「大澤さん、地区協をやれば、始まったのと同じだよ」。まさにその通りかなと思います。気の早い方には「もう終わったも一緒だよ」と仰って頂きました。しかし、まだまだ大きな地区大会、その前に公式訪問という行事が沢山あります。気を緩めず、健康に留意してこの年度を全うしたいと思っています。

2009～10年度の国際協議会は、日本から34地区のガバナーエレクト全員がサンディエゴへ行き、世界中から五百数十名が集まりました。今お見せしている写真には「534名」と書いてありますが、パストガバナーを含めてこの研修を応援される役員の皆様、ご夫人方も合わせていたものですから、優に1,000人を超える方々がこの魚眼レンズの中に収まっています。私も探せばどこかにいるようです。

「International Assembly」と称する国際協議会は、こんな雰囲気ですスタートし、1月25日まで行われた訳ですが、皆さん、気楽な形で参加しながら真

面目に勉強したことは間違いありません。開会セレモニーはこんな風に行われました。皆さんに是非会場の雰囲気を知って頂こうと思って、写真を用意した訳です。『ロータリーの友』にも載っていましたが、2009～10年度のジョン・ケニーRI会長が紹介されました。スコットランド出身の方です。

さて、彼からはまず、RIテーマが発表されました。「The Future of Rotary is in Your Hands」。四つの手が交錯したような中にロータリーのマークが入っています。強調事項は例によって、水保全、保健及び飢餓救済、そして識字率。これはもうずっと、RIは、ロータリアンはとにかく世界のために良いことをやろうじゃないかという考え方の下で、ずっと続いているテーマであります。

識字率というと、日本では「冗談じゃない」と言うような話かもしれませんが。しかしロータリーには色々な国があります。今、200を超える国と地域にロータリーがある訳ですね。そうすると、それぞれ問題を抱えている。後進国、これから発展していこうとする国々には、水の問題もある、健康の問題もある、飢餓の問題もある。これらを全て解決するには識字率ですよ。こういう話になります。ところが国際協議会では、「実はそうじゃないよ、先進国でも同じような問題が起こっているよ」という紹介がありました。イギリスでも、ヨーロッパの国々だとドイツでも、移民が入ってきます。日本も同じように、外国人がどんどん入ってきている。日本的に言えば、その方々に日本語を覚えて頂ければ、色々な問題がかなり解決できる。それと同じことが、イギリスやドイツなどヨーロッパの国々で既に問題になっているという形で紹





介された訳であります。それともう一つ、私はロータリーには「識IT率」が必要だということで、今日もパソコンを使って紹介をやらせて頂いております。皆さんにもこの1年、そうしたお付き合いをして頂こうと思っています。

そして今、ポリオが最後の最後の戦いだということで、ビル・ゲイツがこの会場に登場して、大変な騒ぎでありました。日本の新聞では一つも紹介されなかったのですが、世界では、インターネットは勿論新聞・メディアも多く取り上げています。ビル・ゲイツはロータリーの力——世界の200を超える国と地域に広がり、120万人を超える手足があることを大変重要視して、ビル&メリンダ・ゲイツ財団は、ロータリー財団とマッチングを行い、更なる応援をしますということになりました。これはもう、皆さんもご承知の通りですが、ゲイツ財団のマッチング・グラントが入ったために、ロータリー財団のGrant、資金は大変増えていると紹介されました。

さて、ロータリーの大事なテーマをもう少し掘り下げていきたいと思っております。先程のテーマ、英語の「The Future of Rotary is in Your Hands」が日本語訳では「ロータリーの未来はあなたの手の中に」と私が聞いたと同時に日本へも発信され、地区幹事の岩瀬は、私が連絡するより早く知っていました。ITの大切さは、こうした所にあると思っております。

この「ロータリーの未来はあなたの手の中に」と同時に、私はもう一つ、「職業奉仕がロータリーの基盤だよ」というメッセージを、ジョン・ケニーRI会長からしっかりと受け止めてきたつもりであります。日本を考えてみますと、職業奉仕が最も大事な分野で、会員増強を考える際においても、クラブライフである例会活動と職業活動そのものが一体化しないと、今後は大変だと改めて思う次第です。

また「ロータリーの未来はあなたの手の中に」の頭に「日本」を加えて「日本のロータリーの未来はあなたの手の中に」として考えることが、私のように地区ガバナーとして活動していく者にとっても大切な要素です。ロータリーの未来を考える時、日本抜きに世界のことを格好良く考えても、私共の手に負えるものではないことがあります。WCSや財団の未来の夢計画等々色々ある訳ですが、まず、日本のロータリーは会員がどんどん減っている状況がこの十余年間続いています。これに歯止めをかけていくための

何かを考えていかねばなりません。

実はそれが、今日私がノーネクタイでここに立っている所以であります。こうした形で、私としてのメッセージを送っているのです。具体的には、3時過ぎから行われる会員増強セミナーで詳しく話をさせて頂きたいと思っておりますが、まず、私がロータリーに入った時、親睦が大変大事な要素でした。各クラブはこれを今もそれぞれ続けておられると思いますが、そうした各クラブの活動と職業奉仕を共にしっかりやって頂きたいというのが今年のお願いです。

私はガバナーエレクトになったことで、中部経済新聞が1ページ大の紹介記事を載せてくれました。3月17日の記事ですが、私の新しい事業ということで、企業スポーツでやって来たものを地域の起爆剤にできればと、県境を越えて、豊橋の東三河と浜松をエリアにバスケットのプロチームを立ち上げました。今年は初年度で、この週末、優勝が決まるか決まらないかの試合をやっていますが、私は女房共々行ける限り応援に行っております。これはまさに職業奉仕の一環です。地域の皆さんにご理解頂き、共にチームを支えて頂きたい。皆さんと仲良くやっていきたい。そんな中で、このような記事を頂いたものですから、私が常日頃、日本の若者に対して心配していることもお話しさせて頂きました。

私は「新世代に伝えたい言葉は何か」と聞かれて、「もっと外へ出ろ」と言いました。将来の日本を担う若者を、男性と女性を比較すると、女性は本当に強くなりました。海外へも積極的に出て行きます。しかし男どもは、茹でガエルようになっていて、日本が沈没してようやく気づくかなという気がする程です。そこでもっともっと若いうちに、世界へ武者修行に出かけて欲しい。ロータリーの活動でも、色々若者を海外に送っています。しかし「ノー・サンキュー」の人が多い。このままでは今後、冗談ではなく日本は沈没してしまうと思っており、この場を借りて「もっと外へ出ろ」と言った訳です。

これが、ロータリーの将来と関係するというのが私のもう一つのメッセージです。子供を国際人に育てたい。私の孫は7人全員、海外で生まれました。自分の子供は、自分の考えである程度できるものですから、若いうちから外へ出しました。しかし、あとはせいぜい、自分の会社の社員か周囲に「おい、どうだ?」としか言えませぬ。



それが、日本には96,000人のロータリアンがいます。第2760地区にも5,000人以上がいます。この方々が私と同調して、日本の将来のために国際化を進めて頂ければ。「国際化」という言葉は言われ始めて長いのですが、未だに「英語喋れるなんて凄い、偉い」。これではダメです。当たり前にならないと思っています。

私は自分の子供達を、そうした考えで育てたものですから、40になる長男を頭に子供達は全員、日本にいません。帰りたくない、帰れない、事情は様々ですが、日本にいと、日本にどっぷりつかり、日本をベースに考えざるを得ない。日本のロータリアンにとって、1つの警鐘になると考える次第です。

手前味噌の話はこの辺にして、まとめの部分をお話させていただきます。職業奉仕について、ラジェンドラ・サブ元RI会長が大変素晴らしいスピーチをされたことを皆さんにお伝えします。これは今、インターネットでダウンロードして頂ければ日本語訳が手に入りますし、DVDも出ています。私共の事務所に言って頂ければいつでも差し上げますので、私がごちゃごちゃ言うよりは、まず見て下さい。

主題は「職業奉仕・忘れ去られたアベニュー」。大変感動的なスピーチでした。そしてもう一つ、今日お集まりの皆さんは、第2760地区のクラブの会長幹事であり、地区の委員長さん、クラブの委員長さん、つまりリーダーの方々です。そこで、ロータリーのリーダーはどうあるべきか。ルイス・ビゼンテ・ジア元RI会長が大変素晴らしいスピーチをなさいましたので、これも紹介させていただきます。

ロータリーのリーダーと、社長など会社におけるリーダー、当然違いがあります。会社ならば「俺の言

う通りにやれよ」というのが当然であり、むしろ大事なことです。しかしジアさんは、「ロータリーはそうではない」と言われました。通常のリーダーシップは、三角形のトップに立ち、三角形全体をリードしていく形のリーダーシップです。しかしロータリアンは皆、会社に帰れば一国一城の主です。それぞれ三角形の頂点におられる方々の集まりがロータリーであり、その集団をリーダーとして引っ張っていくには、縦ではなく横の、Horizontal、水平のリーダーシップでやって頂きたいと繰り返し言われました。喩えれば日本の新幹線。従来の列車は、先頭にある機関車が客車を引っ張っていきました。しかし新幹線は、各車両にモーターがついていて、全部のモーターが動いて引っ張っていく。この形でロータリーのリーダーシップを考えて欲しいということで、なかなか含蓄のある言葉だと思いました。

今日は、色々と用意をしてきたのですが、時間が参ったようです。各ガバナーエレクト、このような形で勉強して参りまして、この方は今度、11月にGSEのグループがやって来る第5580地区のガバナーエレクトです。カナダ・アメリカの地区です。

そして4月15日、インターネットを通じて、ガバナーエレクト宛に「3年のTRFCチェア、財団委員長を第2760地区では深谷友尋さんをお願いします」という依頼が来ました。こうして世の中は、ITでどんどん進んでいます。先程私が申し上げたスピーチなども全部揃っていますので、言って頂ければお届けします。是非、ここにおられるリーダーの方々、俺も見てみたいという方にお勧めします。

今日は、本当にご静聴、有難うございました。





# 第1分科会プログラム

< 会長・副会長・幹事・会計 >

会場名 : レセプションホール

## テーマ : ロータリーの未来はあなたの手の中に

	リーダー アドバイザー アドバイザー アドバイザー アドバイザー 司 会	ガバナー ガバナーエレクト ガバナーノミニー パストガバナー パストガバナー 次期地区副幹事	片 山 大 澤 田 嶋 神 戸 大 島 鳥 居	主 水 輝 秀 好 博 政 治 宏 彦 信 行
1	開会の辞および特別出席者紹介	次期地区副幹事	鳥 居	信 行
2	挨拶	アドバイザー ガバナーエレクト	大 澤	輝 秀
3	挨拶	リーダー ガバナー	片 山	主 水
4	挨拶	アドバイザー ガバナーノミニー	田 嶋	好 博
5	未来の夢計画について	アシスタントリーダー 次期東尾張ガバナー補佐	高 山	光 雄
6	各幹事への助言	アシスタントリーダー 地区幹事	宮 崎	薫
7	会員増強について	アシスタントリーダー 次期会員増強リーダー	山 内	登
8	ロータリーの未来について	アシスタントリーダー 次期ロータリー未来委員長	杉 浦	壽 康
9	危機管理について	アシスタントリーダー 次期危機管理委員長	國 分	孝 雄
10	拡大について	アシスタントリーダー 次期拡大委員長	松 尾	隆 徳
11	質疑応答・意見交換			
12	講 評	リーダー ガバナー	片 山	主 水
13	閉会の辞	次期地区副幹事	鳥 居	信 行



# 第1分科会報告

## ◆未来の夢計画について◆

昨年6月のRI理事会でRIの長期計画が承認。3年毎の計画で、2007～10年はポリオ撲滅・公共イメージの高揚をはじめとする7つの優先項目と目標が掲げられた。「未来の夢計画」は、RIの長期計画に沿ってロータリー財団が策定したもので、平和と紛争防止・疾病予防・水・母子・識字率・貧困の6つを重点分野に、財団設立100周年の2017年に世界第一級の財団になるビジョンが描かれている。

私自身はこれらの目標に少々気宇壮大な印象を抱いていたが、実際の処は、ビル&メリンダ・ゲイツ財団がポリオ撲滅のためロータリー財団へ合計3億5,500万ドルを寄付したように、全世界120万人のロータリアンの地道な活動は大変認められている。

未来の夢計画は来年7月から、世界の100地区で準備段階に移行する。当地区も申請済で、皆様に直接関係する処では、地区補助金制度が新地区補助金とグローバル補助金に移行する点が要注意。グローバル補助金は重点6分野の人道支援のみ振り分けられ、海外RCとの共同作業を条件にしており、従来の地域振興系事業はほぼアウト。我々が寄付したお金を我々で有効に使う術を今から考えて頂きたい。

## ◆各幹事への助言◆

幹事の役割は会長を陰ひなたに支え、会長方針を皆が気持ちよく実行できる段取りをすること。まずは会長と十分討議し、RIや地区の方針を取り込みつつもクラブの特徴を活かした活動テーマを作ること。その上で、6月までに何度かクラブ協議会を開催し、委員会に方針を浸透させることができれば、仕事の大部分が終わったと言っても過言ではない。

日常業務で重要なのは事務局とのコミュニケーション。週3回は事務局へ顔を出し、仕事を任せっきりにしないことだ。会社については、あまり心配せずとも大丈夫。むしろ自分の不在で社員に責任感が生まれ、成長のチャンスを取れたと思っている。

ロータリーを楽しむには、充実感・達成感あってこそ。是非夢中になってエンジョイして頂きたい。

## ◆会員増強について◆

この後の会員増強セミナーで詳しい説明がありますので、全員出席して頂きますようお願いいたします。

## ◆ロータリーの未来について◆

2007～08年度、ロータリーの未来図を提示することで、既存委員会では対応できない問題へ素早く対応できることを目標に設立された。昨年度はクラブを対象にロータリーに関する意識と実態を調査し、今年度はその集計・解析を行うと共に、ロータリアンを対象に調査を行った。次年度はこれらの調査結果を基にロータリーの未来像を考えていく予定。

ロータリーとは、親睦・交流の場、自己研鑽・修養の場、奉仕の機会を得る場だと私は考えている。歴史の中で色々な変化を遂げてきたが、「奉仕する個人の集まり」であることは不変。今後も存続するためには、ロータリーの存在価値が広く社会に認知されることが必要。それぞれが「I serve」の心構えで生活し、尊敬を勝ち得ることで、新しい仲間を作り、共に活動できれば未来は輝くと確信している。

## ◆危機管理について◆

今年度は「青少年安全保護委員会」という名称だったように、従来は青少年交換学生を中心に考え、対処されてきたが、田嶋ノミニは危機管理全般をターゲットにされており、次年度はその準備段階的な意味も含めて活動する必要があると考えている。

現在の危機管理マニュアルでは、青少年のセクハラ・人命尊重・交通事故に加え、地震の自然災害発生時の対応も視野に入れたものになっている。今後はロータリーの組織を対外的な脅威から守る方策を整えていく必要があるが、各クラブの対外活動でもその対応をも視野に入れた準備をお願いしたい。

## ◆拡大について◆

中部名古屋みらいRCは、RIが2007年に財団学友や地域社会活動家まで会員資格を広げたことを受けて誕生した、新しい形態のクラブである。拡大の基本はロータリー活動の手薄な地域に新設していくことだが、当地区は既にほぼ全域でクラブが設置されているため、難しいのが事実。今回の設立は、新たな拡大傾向の始まりとして大変喜んでいる。

拡大の第1は、各クラブが自分の地域や近辺に新クラブ設置の機運を高めることであり、当委員会は全力でお手伝いする。新クラブ設立には、産みの苦しみ・育ての苦しみが伴うが、ロータリー活動の質を深める有効な手法としてお取り上げ頂きたい。





## 第2分科会プログラム

< 会長エレクト・副幹事・クラブ奉仕・会員増強・広報・ロータリー情報・ロータリー研修 >

### テーマ：ロータリーの活性化

会場名：センチュリーホール

サブテーマ：ロータリーをよく理解しよう

リーダー	次期クラブ奉仕委員長	藤原	研一
アドバイザー	パストガバナー	福田	浩三
アドバイザー	パストガバナー	盛田	和昭
アドバイザー	パストガバナー	福田	清成
司会	次期地区副幹事	山本	信利
1 開会の辞および特別出席者紹介	次期地区副幹事	山本	信利
2 アドバイザー挨拶	アドバイザー パストガバナー	福田	浩三
3 アドバイザー挨拶	アドバイザー パストガバナー	盛田	和昭
4 アドバイザー挨拶	アドバイザー パストガバナー	福田	清成
5 次期ガバナー補佐挨拶	アシスタントリーダー 次期東三河分区ガバナー補佐	飯島	卓
6 ロータリーをよく理解しよう	リーダー 次期クラブ奉仕委員長	藤原	研一
7 CLPIについて	アシスタントリーダー 次期クラブ奉仕副委員長	井上	穂
8 地区研修会について	アシスタントリーダー 次期研修委員長	鈴木	孝則
9 会員増強について	アシスタントリーダー 次期会員増強委員長	小山	慎介
10 地区総務委員会の役割	アシスタントリーダー 次期地区総務委員長	馬場	研治
11 IT化に向けて	アシスタントリーダー 次期IT委員長	杉浦	令淑
12 規則細則について	アシスタントリーダー 次期規則細則委員長	榊原	章夫
13 広報活動について	アシスタントリーダー 次期広報委員長	裕	伸夫
14 地区幹事紹介	アシスタントリーダー 2010～2011年度地区幹事	水野	吉紹
15 質疑応答・意見交換			
16 講評	アドバイザー パストガバナー	福田	浩三
17 閉会の辞	次期地区副幹事	山本	信利

## 第2分科会報告

### ◆ロータリーをよく理解しよう◆

数年前から、ロータリー活性化の源としてクラブ奉仕の重要性が叫ばれるようになってきている。そのためにはまず、ロータリーを理解し、自分の力で咀嚼することが大切。その思想の上に立つのがCLP。クラブ奉仕委員長は、管轄委員会をよく把握し、会員が例会に出席することで活力を得て、仕事に生かせるような魅力あるクラブ運営を行うことが第1。会員減少に対する危機感を会員全員で共有し、根気強く人を増やし、人を育て、更に今後どうすべきか、変えるべきことは何かを皆で話し合っ欲しい。その過程のリーダーシップも委員長の役割である。

なお、『奉仕の理想』7月号・9月号・11月号にそれぞれクラブ奉仕委員会関連の記事があるので、目を通して欲しい。また、昨年度・昨年度とクラブへのアンケートを元にまとめた冊子が出ている。

### ◆CLPについて◆

かなり違和感を持って始まったCLPであるが、現在は、クラブ細則・手続要覧等々は全てCLP意識の文言になっており、着実に浸透しているのが現状。クラブ組織や運営方法を押しつけたら、ロータリーの奉仕や理念を変えるものではなく、それらの強化を考える際の手段であることを、改めて強調したい。RIからの提言を如何に組み入れていくか。

地区クラブ奉仕委員会では、未検討のクラブに検討を促すと共に、方向性や検討方法をどのように提示していくかが課題。役割の重さを痛感している。

### ◆地区研修会について◆

各界のリーダーの集まりであるロータリーで、教育・指導・研修という言葉は馴染まないと思うが、世界120万人のロータリアンが意思疎通を図る上では、認識の共有・共通言語の習得が必須。当委員会はその勉強を共にしていくものと、ご認識頂きたい。

勉強すべき事柄の1つに、急激な会員減少問題がある。商売で言えば売上の減少であり、今の時代に即した解決策を見つけるための勉強会を開催予定。

### ◆会員増強について◆

本日午後3時より、会員増強セミナーが開催される。最後までお残り頂きますようお願いいたします。

### ◆地区総務委員会の役割◆

今年度、①IT委員会の業務を弾き継ぐ、②ガバナー分室運営委員会の業務を引き継ぐ、③地区報作成のサポート――を

役割に創設された。次年度は、地区報の電子媒体化に伴い、地区のITレベルを均等に引き上げる必要性からIT委員会が再度登場。よって、ガバナー分室に保管された資料整理と分室利用の合理化を図っていくことが主要業務となる。資料はこの1年で概要を掴むことができた。今後は不要資料の廃棄及び新たな資料収集まで踏み込んで計画していきたい。分室には20名規模の会議室が用意されている。より多くの方が活用できるような仕組み作りと会場整備を考えていきたい。

### ◆IT化に向けて◆

2001～02年度、フランク・デブリンRI会長は全世界の地区にDICO（地区インターネット推進リーダー）を1名ずつ置き、Eメールアドレスの取得を要請された。当委員会はその時発足し、4年かけて各クラブのEメールアドレス取得を進め、印刷物の内製化やホームページ開設、CICO（クラブインターネット推進リーダー）の任命を促してきた。一定レベルの確保で総務委員会に集約されたが、次年度は再独立。『ガバナー月信』のウェブ配信化に伴い、クラブ等受け手のIT習熟をCICOと共に支援・指導することが大きな役割だと考えている。

### ◆規則細則について◆

今年度、片山ガバナーの発案でRI各クラブに対する規則・細則の整備・助言を役割として発足。昨年秋の地区大会で出席方法の算出に関する改善案をRIに提案することを決議し、12月末に提案書を送付した。次年度は特に具体的なテーマはない。各クラブは規則に囚われすぎず、実情に即した運営して頂ければ良いと考えているが、疑問点等があれば共に勉強し、考えていくので提示をお願いしたい。

### ◆広報活動について◆

2006～07年度、地区として広報の基礎固めをしたいとの齋藤ガバナーの意向で発足。広報・雑誌委員長会議を年2回実施し、クラブ広報の実態把握と情報交換の場を提供してきた。ロータリーが未永く成長を続け、奉仕を行っていくには広報活動は欠かせない。ロータリアン1人1人が広報パーソンという意識で行動して頂けるよう、広報活動の主役であるクラブ委員会と良い協力体制を築いていきたい。

### ◆地区幹事挨拶◆

第二分科会は会長エレクト・副幹事が参加。次年度は準備的ポジションで、今日のテーマ「ロータリーを理解しよう」を念頭に十分勉強して頂くことが、スムーズなスタートにつながると考えている。







# 第3分科会プログラム

< 職業奉仕 >

会場名 : 会議室131・132

## テーマ : 職業奉仕がロータリーの基盤

リーダー	次期職業奉仕委員長	國友	昌大
アドバイザー	パストガバナー	石川	和昌
司会	次期地区副幹事	木下	良夫
1 開会の辞および特別出席者紹介	アシスタントリーダー 次期職業奉仕副委員長	丹羽	司一
2 次期ガバナー補佐挨拶	アシスタントリーダー 次期西名古屋分区分区ガバナー補佐	草野	勝彦
3 ① 次年度各クラブ委員会の活動(任務)	リーダー 次期職業奉仕委員長	國友	昌大
② 四つのテスト	リーダー 次期職業奉仕委員長	國友	昌大
③ ロータリーの職業奉仕について	アシスタントリーダー 次期職業奉仕副委員長	丹羽	司一
4 アドバイザー挨拶	アドバイザー パストガバナー	石川	和昌
5 講評	アドバイザー パストガバナー	石川	和昌
6 閉会の辞	次期地区副幹事	木下	良夫

## 第3分科会報告

### ◆次年度各クラブ委員会の活動(任務)◆

次年度のテーマはRI・地区のテーマそのままの「職業奉仕がロータリーの基盤」。8月27日(休)、第1回職業奉仕委員長会議を名鉄ニューグランドホテルで開催し、職業奉仕の権威として高名な深川純一第2680地区PGよりご講演を賜る。是非出席を。

10月の職業奉仕月間では、全クラブで委員長自ら職業奉仕に関する卓話をやって頂きたい。内容は、地区委員会で職業奉仕と四つのテストについてパワーポイントを作成・発信する。ご活用頂きたい。

### ◆四つのテスト◆

職業奉仕の具体的な行動指針が『四つのテスト』。ハーバード・テイラーが倒産寸前の企業でこの文言を全社員に適用し、目覚ましい業務改善を成し遂げたことから、ロータリーの原則として採用された。

原文は『Four way Test』と、「Test」が単数形であることに注目すべき。『ロータリーの綱領』が「Object」と単数形であると同様、4項目全てをまとめて1つの基準となっている。「真実かどうか」はある・なしのデジタルな判定。「皆に公平か」の公平は「公正」とご理解頂きたい。「公平」ではアンフェアな手段で得た利益の分配も含まれてしまう。「四つのテスト」が商取引の基準である以上、「皆」とは事業上のステークホルダーを指す。商取引で適正な利潤を追求し、信用・評判を高めることが重要。

2007年発刊の『ロータリー情報マニュアル』に詳細な解説が載っているので、それを参考にしながら、パワーポイントと共に卓話をやって頂きたい。

### ◆ロータリーの職業奉仕について◆

職業奉仕について考えることはロータリーの奉仕のあり方について考えることでもある。その際の良い反例がライオンズクラブ。創設者メルビン・ジョーンズは、企業間競争に勝ち抜くためには倫理観の欠落ちやむなしという立場を取り、その悪を自覚して得た利益の一部を皆で社会に還元しようと呼びかけた。対してポール・ハリスが唱えた鉄則は、清い労働によって清い収益を上げること。職業奉仕を誠実にやってこそ堂々と例会に出席して知性を高め合い、親睦を深めることができるという立場を取っている。これが両者の旗印「We serve」「I serve」の違いとなって現れ、ロータリーでは個人ありき。

職業奉仕も、まずは会員1人1人が倫理的職業観を確立し、事業活動で実践することが求められている。例会はその倫理

性や品位を養う場であり、「職業奉仕」の名の下に例会を欠席するのはお門違い。また、「無料相談」の類も、職業が生計を立てる手段である以上、厳密には職業奉仕の範疇に入らない。

職業奉仕がロータリーの根幹であることは、『ロータリーの綱領』によって裏付けられている。己の事業の根底に「奉仕の理想」、世のため人のためという心を持って商行為に当たること。また、その考えを周囲の人に鼓舞奨励していくことが、ロータリーの「Object (目的)」だと謳われており、その行動指針として、第1から第4の項目が存在している。

職業奉仕の提唱者、アーサー・フレデリック・シールドンは、当時の荒廃した商いの中でも、公明正大な経営方針を堅持する商人が最終的に成功している事実から、事業が継続・発展する条件として、①適正価格、②経営者・従業員の接客態度、③品揃え、④公正な広告、⑤豊富な商品知識、⑥アフターサービスを挙げ、それらを総合した概念を「service」と定義した。ロータリーの第二モットー「He profits most who serves best (最も奉仕する者、最もよく報いられる)」もその延長で提示された言葉。

職業奉仕とは1つの人生哲学。利己的な欲求と、義務及び他人のために奉仕したいという感情の間に存在する矛盾を和らげるものであり、職業の品位を高めることで得た利潤を社会に還元していくのが、社会奉仕・国際奉仕に相当する。ただ一生懸命事業をすれば良い訳ではないことを啓蒙して頂きたい。

### ◆職業奉仕への私見(次期地区副幹事)◆

資本主義とは、従来の宗教・社会通念等では醜いものとされていた金銭欲を史上初めて美化した形で展開した画期的な思想だった。あくまでも従来の枠組のアンチテーゼとして始まったものであり、一人歩きし、暴走した結果が現代の混迷になっている。ロータリーの職業奉仕とは、その資本主義の暴走に一定の枷をつけて良い発展に導くものだと考える。

「He profits most who serves best」は現在、性差別だと主語が「They」に置き換わっているが、元々はRIが「profits」を「稼ぐ」と表面的に解釈し、「そぐわない」と言い出したことが発端だったと石川PGから伺った。孔子の「君子は義に喩り、小人は利に喩る」を敷衍すれば、日本語の「報い」の方が正しく、「He」を「They」に置き換えて良しとしたのは、「I serve」の信条から外れるように思う。

職業奉仕の実践者は、人生や経営の師匠となりうる。そうした方々と出会えるのがロータリーのメリットであり、会員増強にもつなげていきたい。





## 第4分科会プログラム

< 社会奉仕・RCC・環境保全 >

会場名 : 会議室141・142

### テーマ : ロータリーの未来はあなたの手の中に

サブテーマ : 楽しく明るい未来のために

	リーダー	アドバイザー	司会	次期社会奉仕委員長 パストガバナー 次期地区研修リーダー 次期地区代表副幹事	西脇 良一 斎藤 直美 竹本 尚美
1 開会の辞および特別出席者紹介				次期地区代表副幹事	竹本 尚美
2 リーダー挨拶 明るい未来のために				リーダー 次期社会奉仕委員長	西脇 良一
3 アドバイザー挨拶 社会奉仕を考える				アドバイザー パストガバナー 次期地区研修リーダー	斎藤 直美
4 アシスタントリーダー挨拶 社会奉仕とクラブの独自性				アシスタントリーダー 次期西三河分区ガバナー補佐	石原 健一
5 地域のニーズに応じて				アシスタントリーダー 次期社会奉仕副委員長	深田 利幸
6 RCC委員会方針				アシスタントリーダー 次期RCC委員長	松崎 美都子
7 地区環境保全委員会方針				アシスタントリーダー 次期環境保全委員長	鈴木 元弘
8 地区補助金について				アシスタントリーダー 次期補助金委員会委員長	松尾 憲二郎
9 質疑応答・意見交換					
10 講評				アドバイザー パストガバナー 次期地区研修リーダー	斎藤 直美
11 閉会の辞				次期地区代表副幹事	竹本 尚美



## 第4分科会報告

### ◆明るい未来のために◆

経済環境の悪化は、社会的弱者により深刻な影響を与える。それを救済したいと思うことは、人間の根源的なバランス感覚だが、麻痺・希薄化している場合が往々にして見受けられる。その大切さをアピールし続けることが社会奉仕委員会の役割の1つ。

社会奉仕の活動対象は広範囲にわたり、国内外の事柄と関連性・連動性を有している。極力多くの情報収集に当たり、知識を蓄積した上で事業を展開して欲しい。地区では昨年より、インターネットを介してクラブの事業内容をまとめ、立案の参考にして頂くようにしている。地域の真のニーズを検討し、明るく楽しい社会の拡大に努力して頂きたい。

### ◆社会奉仕を考える◆

2年前、ラオスのWCS活動を視察した私は、その成果と関係者の熱意に感動した一方、これが真のロータリー活動なのかという疑問を覚えた。我々は職業奉仕がロータリーの真髄であり、個々の奉仕が基本だと教えられて育った。クラブや地区単位で行う社会奉仕・国際奉仕はいわばその対極。違和感を抱きながらガバナー職を務め、職業奉仕の大切さを説いていたが、近年改めて調べてみると、1960年代から途上国援助や社会奉仕の重要性が叫ばれ、個人からクラブ・地区へ主体の転換が始まっていた。

奉仕のあり方は時代と共に変化することを念頭に置き、地域のニーズから世界の様々なニーズへと、自分達はどうかを今一度考えて頂きたい。

### ◆社会奉仕とクラブの独自性◆

私が所属する三河安城RCは昨年10周年。最初の5年間は会員増強と親睦で基盤を作り、6年目より社会奉仕活動を始め、地域の水質浄化活動に取り組んだ。継続事業も年数を重ねると若干重荷に感じ、時代と共に地域のニーズも変わることから、3年目で終了し、現在は壁面緑化事業に取り組んでいる。新しいテーマを見つけ、事業を立ち上げるのも大変だが、伝統的な事業を止めるのも大変努力がいる。委員長はその狭間で悩まれると思うが、周囲を見渡し、じっくり考えた上で計画を立てて頂きたい。

### ◆地域のニーズに応えて◆

私は豊田市の軟式少年野球に関わって30年になる。当時、私がPTA会長を務めていた小学校は1,700人のマンモス校だったにもかかわらず軟式チームがなく、希望児童は電車で隣町まで通っていることを知った私はチームを結成。私にとって少年野球は文字通り生活の一部となったが、その後、週休二日制導入で中学生チームも設立。どちらも地域や子供達のニーズに応えた事例だと自負している。

社会奉仕の対象は生活上全ての範囲にまたがり、地域のニーズも大変多い。その中で何を取り上げ、実行するかを見

極めが重要。社会奉仕はロータリー活動を高める。積極的に取り組んで頂きたい。

### ◆RCC委員会方針◆

RCCとは「Rotary Community Corps (ロータリー地域共同隊)」の略称で、1989年にRIの公式プログラムに採用された。ロータリアン以外の地元住民の青年男女10名以上で構成されたRCCが、地域に密着した奉仕活動を継続的に行い、クラブがそれを支援するという体裁を取っている。世界では6,375隊と約14万人の隊員があり、日本国内は28隊、約2,600人。当地区はうち11隊、2,050人と、国内一RCCが盛んな地区となっている。提唱クラブは9つ。それぞれ特色ある活動を展開している。

当委員会ではこうした現状と取り組みを広く紹介し、理解に繋げていくことを目的に活動していく。

### ◆地区環境保全委員会方針◆

環境保全は地球規模の問題であり、各国とも様々な政策を進めている。緊急性においては、2007年2月に採択されたIPCC第四次報告書に詳しく、それを受けて発信された緊急メッセージを年度初めに各クラブへ配信するので、是非ご一読頂きたい。

RIでは、持続可能な土地管理と保全の推進・責任ある水利用と廃棄物管理の推進・エネルギー効率の改善と汚染消滅・安全な水と基本的衛生設備へのアクセスの改善をロータリーのアプローチとして位置づけ、様々な行動指針を提示している。各クラブは指針を参考に、地域の実情に合った形で、できれば地域の人々と手を携えた形で事業を展開して頂くことを望む。当委員会からは、2010年に名古屋で開催されるCOP10(生物多様性条約締約国会議)に関する情報を第1回委員長会議でお伝えすると共に、第2回会議では、各クラブの活動内容をご報告頂くことを考えている。また、昨年度より詳細な形でアンケートを予定しているので、是非ご協力頂きたい。情報を集約し、展開することで、皆様の地域でより素晴らしい活動を推進して頂けると信じている。

### ◆地区補助金について◆

次年度は、斎藤ガバナー一年度に皆様がロータリー財団へ寄付されたお金のうち、10%相当の540万円が地区補助金として戻ってくる。各クラブが社会奉仕・RCC・環境保全等の人道的プログラムを行う際、事業費の一部に組み込むことができるお金で、いわば「利用しなきゃソン」。今年度は22クラブが活用し、次年度も既に1件申込を受理しているが、81RC全てに利用して頂きたいと考えている。

但し、補助対象の事業は様々な制約がある。本日配布した資料に加えて、ロータリー財団委員長にも詳細な資料をお渡ししているので、それらを参考にして、対象になる形で事業計画を立てて頂きたい。





# 第5分科会プログラム

< 国際奉仕・青少年交換・世界社会奉仕 (WCS) >

会場名 : 会議室234

テーマ : 夢=それを託すための国際奉仕とするために

	リーダー	次期国際奉仕委員長	黒田	勝基
	アドバイザー	バストガバナー	豊島	徳三
	司会	次期地区副幹事	鈴木	榮一
1	開会の辞および特別出席者紹介	次期地区副幹事	鈴木	榮一
2	リーダー挨拶	リーダー 次期国際奉仕委員長	黒田	勝基
3	アドバイザー挨拶	アドバイザー バストガバナー	豊島	徳三
4	次期ガバナー補佐挨拶	アシスタントリーダー 次期西尾張分区ガバナー補佐	保浦	文夫
5	国際奉仕の重要性について	リーダー 次期国際奉仕委員長	黒田	勝基
6	青少年交換について	アシスタントリーダー 次期青少年交換委員長	森	榮
7	世界社会奉仕(WCS)活動について	アシスタントリーダー 次期世界社会奉仕委員長	籠橋	美久
8	質疑応答・意見交換	リーダー 次期国際奉仕委員長]	黒田	勝基
9	講評	アドバイザー バストガバナー	豊島	徳三
10	閉会の辞	次期地区副幹事	鈴木	榮一



## 第5分科会報告

### ◆国際奉仕の重要性について◆

国際奉仕とは、国際親善・国際交流を通じて世界平和に貢献していくことであり、またそれに関わる人材育成も使命の一つだと考えている。RIの掲げる項目は、2000年に国連が発表した「ミレニアム開発目標」とほぼ同一で、我々の目指す方向が全世界の取り組むべき事柄であることを示している。

国際奉仕の原点はクラブ対クラブ。本日は皆様に海外提携クラブに関する調査票をお渡しした。地区でデータを更新し、取りまとめたものを報告する。

RIの方針転換に伴い、WCSを中心にロータリー財団との連携を積極的に展開していく必要がある。次年度では将来に向けたプロジェクトチームを発足させ、随時情報提供を行いながら進めていく予定。

国際奉仕、特に青少年交換を進めていく上では危機管理が不可欠。地区では3年前に危機管理委員会が発足し、セクハラ・虐待・事故・災害、あるいは病気等の危機を未然に防ぎ、発生後に適切な対応がとれるための仕組み作りが出来上がっている。

『ロータリーの綱領』第4項に謳われた世界平和の実現に向けて、地区委員会は精一杯クラブ委員会のお手伝いをしていく所存。卓話等にも是非お呼び頂きたい。なお、8月21日(金)に第1回国際奉仕委員長会議を開催するので、ご予約頂くようお願いしたい。

### ◆青少年交換について◆

青少年交換は1927年、ロータリアン同士が自分の子弟を互いの家庭で預かり合ったことが発端で、日本では1961年より始まった。数多いロータリーのプログラム中、唯一ロータリアンの子弟も参加できるプログラムであり、是非参加して頂きたい。

対象は出発時の高校生で、留学期間は1年。3～4カ所のホストファミリーを回り、様々な文化・習慣を修得すると共に、小さな国際親善大使として、国や地区の相互理解に寄与することが求められる。また、ただ1年海外で過ごせば良しではなく、1年をかけて準備させ、帰国後は更に、帰国生として派遣予定者や滞在中の交換学生の相談に乗ることが求められる、都合3年のプロジェクトとなっている。派遣先も同様の体制を整えて受け入れて下さるので、非常に安心・安全な留学制度だと自負している。

費用のうち、交換学生が負担するのは往復渡航費及び健康

保険費、滞在中の通信費等や制服・部活等学校生活で特別に発生する費用に止まり、その他の学費・食費を含めた滞在費は受入側のホストクラブが負担することになっている。小遣いも月1回例会に出席し、その場で渡す仕組み。クラブの受入方針や学校の理解によって金額はまちまちだが、35万円から60～70万円程度。ホストファミリーに対しては、地区より弁当代として月3万円の補助がある。

派遣・受入は一対で行われることが原則で、最近では受入に難色を示すクラブの増加によって扱い人数が減少していることが悩みの種。あまり構えず、できる範囲でやって頂くことをお願いしたい。年間の受入が無理でも、複数クラブで受け入れる仕組みもできている。特に、ホストファミリーは、普通の生活を体験させることが目的であり、家を改築したり旅行に連れて行ったり等の特別な配慮は一切無用。

募集要項は教育委員会を通して県内全ての高校に行き渡っている。学生から問い合わせがあっても無闇に断らず、地区へご一報頂くようお願いしたい。

### ◆世界社会奉仕(WCS)活動について◆

WCSは「World community service」の略称で、海外の地域社会において保健及び飢餓の救済・水保全・識字率向上に関する支援を行っている。次年度計画では、より多くの財団補助金が使えるようになる次々年度を見据えてロータリー財団との連携を図ると共に、従来通り、各クラブへの理解を深める活動、タイ・チェンマイの第3360地区に設立した基金からタイ山岳民族の小学生へ奨学金を支給、JICAのサポートを得てラオス山岳地帯に建設した4校の小学校へ学用品援助等を行う予定。新たな学校建設ではベトナムをターゲットに考えている。

WCSの支援先は都市から遠く離れており、行くだけでも一苦労。その分、皆様に実際に現地に足を運んで頂き、肌で感じて頂くことが重要だと考えている。私自身、現地で相手の喜びを目の当たりにした時の感動があるからこそ、活動が続けられている。視察旅行に1人でも多くのご参加をお願いしたい。

WCSは海外との折衝等々、クラブ主体では難しい部分があるのも事実。地区の事業提案は各クラブが主体事業を興すきっかけとして捉えて頂ければ、日本も過去、海外から支援を受けた事実がある。そのお返しとして、皆様のご理解をお願いしたい。







## 第6分科会プログラム

< 新世代・インターアクト・ローターアクト・RYLA >

会場名 : 会議室224

テーマ : **ロータリーの未来はあなたの手の中に**

サブテーマ : 新世代育成事業の原点回帰

	アドバイザー 司 会	パストガバナー 次期新世代副委員長	松 本 宏 増 井 洋 生
1	開会の辞	次期新世代副委員長	増 井 洋 生
2	特別出席者紹介	次期地区副幹事	中 杉 和 雄
3	リーダー挨拶	サブリーダー 次期新世代副委員長	増 井 洋 生
4	アドバイザー挨拶	アドバイザー パストガバナー	松 本 宏
5	次期ガバナー補佐挨拶	アシスタントリーダー 次期西三河中分区ガバナー補佐	堀 川 泰
6	新世代委員会「次年度方針」	サブリーダー 次期新世代副委員長	増 井 洋 生
7	新世代委員会「改革の経過と報告」	サブリーダー 次期新世代副委員長	増 井 洋 生
8	「インターアクトの次年度への課題」	アシスタントリーダー 次期インターアクト委員長	大 河 内 圭 一
9	「全国ローターアクト研修会について」	アシスタントリーダー 次期ローターアクト委員長	富 田 雅 則
10	テーマ「RYLAセミナー今後の選択肢」	アシスタントリーダー 次期RYLA委員長	犬 東 敏 彦
11	質疑応答・意見交換	出席者と新世代委員会及び、関連小委員会	
12	講 評	アドバイザー パストガバナー	松 本 宏
13	閉会の辞	次期新世代副委員長	増 井 洋 生

## 第6分科会報告

### ◆新世代委員会「次年度方針」◆

配布冊子の3ページに次年度の方針が記載されている。昨年度に続き、意識と組織運営の改善・改革を強力に推し進めていく。ご協力をお願いしたい。

### ◆新世代委員会「改革の経過と報告」◆

松本PG年度で「青少年活動」から「新世代」へ名称を変えた当委員会であるが、0歳からの支援を強化すべく「青少年育成支援」に変化しつつあるのが最近のRIの動向。地区では従来の15～30歳に止まり、0～15歳の行動はとれていないのが現状。

新世代育成の理念は費用対効果を求めないこと。成果が目に見えにくい分、従来踏襲で来てしまった結果、活動の本質が空洞化してしまったという反省に立ち、昨年度よりインターアクト・ローターアクト・RYLAの各委員会を小委員会とし、全ての責任は母体である新世代委員会が持つという性格づけを改めて行った。各クラブでも、事業(=戦術)は3委員会に任せても、理念や方向性の提示(=戦略)は新世代委員会が務めて頂きたい。方向性は慣例や固定観念に囚われず、各クラブの委員長が理念に則ってすべきと判断したことを指し示して頂きたい。その過程で問題が生じた時は、遠慮なく地区委員会へお知らせ頂きたい。全力でバックアップする。

昨年度は、改革の一環としてクラブに地区委員会の卓話をさせて頂くようお願いした。51クラブを訪問して判明したのが新世代に対する温度差の違い。地区委員会としては、クラブ間の温度差を埋め、理念を浸透させることが最優先課題だと考えている。今年度も卓話実現への働きかけをお願いしたい。

今ひとつお願いしたいのが、顕彰に値する新世代の発掘。若者に芽吹いた小さな芽を見つけ、育てることがロータリアンの役割。どんな些細なことでも構わないので、4月末日までにお知らせ頂きたい。

### ◆インターアクトの次年度への課題◆

5月20日、地区16番目のインターアクトクラブ(IAC)として、愛知啓成高校IACが発足する運びとなった。提唱クラブとしてご尽力頂いた稲沢RCの関係各位にまずもって厚く御礼申し上げます。

地区委員会の戦術は、第1に、各委員がそれぞれIACの担当を決め、例会に参加させて頂くことを考えている。IACとの円滑なコミュニケーション基盤は提唱クラブ。地区委員会と提唱クラブの連絡体制を確立し、より強固な体制を築いていきたい。

第2は年2回の地区ローターアクト委員長会議。名古屋以外の地域でも開催することを考えている。

第3は提唱クラブ会員のIAC参加の件。IACの定款・細則には、「提唱RCのIAC委員会委員が出席しないと正式な例会と認められない」と規定されており、ロータリアンの出席は義務規定となっている。このことを周知徹底させていきたい。

なお、地区行事として、次年度開始早々の7月20日にインターアクト年次大会が、7月22日からは海外派遣研修が開催される。各クラブにおいても早めに引き継ぎ作業を行い、準備にご尽力頂きたい。

### ◆全国ローターアクト研修会について◆

地区では、9つのローターアクトクラブ(RAC)の会長を中心とした年5回の地区会議をはじめ、地区協議会・国内研修・海外研修等の行事が開催されているが、次年度は全国規模の全国ローターアクト研修会を当地区がホストすることになっている。

日程は2010年3月13日・14日の2日間。会場は13日はウェスティンナゴヤキャッスル、14日は愛知産業労働センター。月1回の割合で実行委員会が開催され、「天下布武——天が下に奉仕の心を布く」をテーマに大枠が出来上がり、パンフレットも完成するなど各部署の準備もかなり進んできている。

例年は800人規模の大会であるが、名古屋という地の利を活かし、1,000人規模になる予定。成功に向けて、一丸となって真剣に討議を重ね、頑張っているのも、RACを提唱していないクラブにおいても大会に向けたご支援・ご協力をお願いしたい。

### ◆RYLAセミナー今後の選択肢◆

従来「ライラ」と片仮名で書かれることが多かったが、「Rotary Youth Leadership Award(ロータリー青少年指導者養成プログラム)」の略称であることを周知徹底すべく、現在は「RYLA」表記に統一。クラブにおいても必ずこの表記を採用し、疑問が発生したら認識向上の機会と捉えて頂きたい。

現在のRYLAセミナーは1泊2日、13,000円位の登録料で130～150名の受講生を集めている。今年度は2009年11月14日・15日、小牧RCのホストで「礼節」をテーマに愛知青年の家で開催するが、「青少年育成」という本来の目的がおろそかになりやすく、また受講生を参加させる各クラブにお座りの姿勢が見え隠れするのが現実。受講生の心に刻まれるセミナーのあり方について人数・日程・場所等模索を続けている。認識とご助言をお願いしたい。





# 第7分科会プログラム

< ロータリー財団・年次寄付・恒久基金・ポリオプラス・補助金・  
財団奨学・研究グループ交換・財団学友・ロータリー世界平和フェローシップ > 会場名 : 会議室232・233

## テーマ : ロータリーの未来はあなたの手の中に

サブテーマ : ①実践しよう 世界平和の為に  
②実践しよう 世界の子どもの為に  
③実践しよう 識字率向上と水保全の為に

	リーダー	アドバイザー	アドバイザー	司 会	次期R財団委員長	深 谷	友 尋
					パストガバナー <td>野 村 <td>重 彦</td> </td>	野 村 <td>重 彦</td>	重 彦
					パストガバナー・R財団カウンセラー <td>江 崎 <td>柳 節</td> </td>	江 崎 <td>柳 節</td>	柳 節
					次期地区副幹事 <td>戸 田 <td>俊 晴</td> </td>	戸 田 <td>俊 晴</td>	俊 晴
1 開会の辞および特別出席者紹介					次期地区副幹事	戸 田	俊 晴
2 リーダー挨拶	リーダー				次期R財団委員長	深 谷	友 尋
3 アドバイザー挨拶	アドバイザー	パストガバナー	R財団カウンセラー			江 崎	柳 節
4 次期ガバナー補佐挨拶	アシスタントリーダー				次期東名古屋分区ガバナー補佐	村 橋	泰 志
5 年次寄付について	アシスタントリーダー				次期年次寄付委員長	山 田	猛
6 恒久基金について	アシスタントリーダー				次期恒久基金副委員長	藤 田	守 彦
7 ポリオプラスについて	アシスタントリーダー				次期ポリオプラス委員長	磯 部	茂
8 地区補助金について	アシスタントリーダー				次期補助金委員長	松 尾	憲 二 郎
9 ロータリー財団奨学について	アシスタントリーダー				次期R財団奨学委員長	ミカエル	カルマノ
10 研究グループ交換について	アシスタントリーダー				次期GSE委員長	鈴 木	文 勝
11 財団学友について	アシスタントリーダー				次期財団学友委員長	満 田	稔
12 世界平和フェローシップについて	アシスタントリーダー				次期R世界平和フェローシップ委員長	石 川	昌 和
13 質疑応答・意見交換							
14 講 評	アドバイザー	パストガバナー				野 村	重 彦
15 閉会の辞					次期地区副幹事	戸 田	俊 晴



## 第7分科会報告

### ◆リーダー挨拶◆

ロータリー財団最大の特徴は、集めた資金で自ら奉仕活動を実践していること。今年度より3年間、ポリオプラスに対して1人1,000円ずつの寄付をお願いしているが、ゲイツ財団の新たな寄付を受け、RIからは金額の上乗せが発令された。当地区では地区活動資金から割当額を充当し、皆様に追加寄付を求めないことになったが、ポリオプラス基金への寄付は引き続き推奨していきたいと考えている。

今年度の重点目標は未来の夢計画パイロット地区への挑戦。日本最大地区の責務として申請し、7月より関連委員会と新プログラム活用のためのプロジェクトチームを発足。新旧が混在する年度となり、混乱も生じると思うが、我々が集めた寄付を我々で活用できるよう、ご支援とご協力をお願いしたい。

### ◆アドバイザー挨拶◆

2017年の100周年に向けて、ロータリー財団は大きく変化しようとしているが、理念は変わらず、現状に即した制度改革だとご理解頂きたい。地区資金で特筆すべきはグローバル補助金。支給プロジェクトは6つの重点事項に限定されるが、クラブ単位のWCS活動・RCCの推進等で大きな力となると考える。各クラブで企画したプロジェクトを積極的に地区へ上げて頂きたい。財団がクラブを活性化させ、世界を変えていくという認識に立ち、奉仕活動の指導的役割を果たして頂くことを期待する。

### ◆次期ガバナー補佐挨拶◆

ガバナーと委員会のパイプ役として、両者の方針と目標遂行にお役に立てていければと考えている。

### ◆年次寄付について◆

第1の役割は「毎年1人100ドルを」の目標を如何に達成させるか。前後期の会費に組み入れる等、クラブ毎に方策を遂行して頂くようお願いしたい。

もう一つお願いしたいのはロータリーカードの作成。利用額の0.3%と、ゴールドカードでは年会費1万円のうち3千円が財団の年次寄付に回る。委員長を務めとして活用し、周囲にもお勧め頂きたい。

### ◆恒久基金について◆

今年度の地区ベネファクター実績は66名。次年度は地区内全クラブから出して頂けることを目標に、7月早々に会長・幹事・財団委員長に宛てたお手紙を申し上げるので、必ずご返答願いたい。円高ドル安の今がチャンス。年次寄付同様の協力をお願いする。

### ◆ポリオプラスについて◆

今回のゲイツ財団の寄付は、1979年よりロータリーが連綿と取り組み、WHO・ユニセフ・米国疾病予防センターの4者でことあたっても根絶できない状況に業を煮やしたものと捉えている。田嶋年度までの1人1,000円の寄付が、真に会員の

心を込めた形になるような仕掛け作りをお考え頂きたい。

また、次年度テーマ「実践しよう」を踏まえて、直接ポリオを投与しに行くことも考えている。

### ◆地区補助金について◆

次年度の地区補助金は、斎藤ガバナー年度に皆様から頂いた寄付の10%・約540万円。5月15日の第1回地区委員会で申請内容を検討し、表現等々のアドバイスを行っていくので、できるだけ早く申請して頂きたい。第1回審査会は7月10日。7月30日の第2回審査会には補助案件の9割方を決定し、クラブにお返事申し上げる。申請上の不明点は分室にご連絡頂ければ当委員会がお手伝いさせて頂く。

理想は地区内全クラブにご活用頂くこと。そのため、満額補助できない可能性もあることをご了承頂きたい。また、補助の見返りとして、1人100ドルの年次寄付を必ず遂行して頂くようお願いする。

### ◆ロータリー財団奨学について◆

新制度では、候補者が自由に専攻や学校を選べた従来型から、ロータリーの理念に合った勉強のためにお金を出す——財団が示す6つの重点事項に即した分野・学校で学ぶ候補者を選抜する形に大きく変更される。それに伴い、次年度は移行の準備期間として位置づけ、新たな奨学生は募集しない。但し、周囲に新制度に合致した若者がいれば、今から積極的に働きかけ、送り出していきたいと考えている。

### ◆研究グループ交換について◆

次年度の交換は第5580地区（カナダ・アメリカ）。派遣期間は2010年4月10日～5月16日で、募集人員は4名。募集締切は7月31日。早々にクラブ全体へ呼びかけ、積極的な推薦をお願い申し上げる。受入は今年11月1日～29日。ロータリアンのチームリーダーを含む5名が来日予定で、西三河・東名古屋・南尾張・東尾張の各分区分に1週間ずつ担当して頂く。ホスピタリティを持ったご協力を。

### ◆財団学友について◆

当地区の学友会は約400名が在籍。派遣予定の奨学生・GSEチームへのサポート等にご活躍を頂いている。現在、5月31日に総会及び2009～10年度奨学生の壮行会、8月30日にガイダンス、来年2月28日にオリエンテーションが予定されている。

中部名古屋みらいRCはこの学友を中心に発足した新しい形態のクラブ。5月24日の設立総会に多くの方にお集まり頂き、今後ご支援を頂きたい。

### ◆世界平和フェロウシップについて◆

3年間の実務経験とディベート可能な英語スキルという壁に阻まれて、発足以来1人も送り出せていないのが現状。世界選抜で70人という狭き門だが、次々年度からは地区の範疇で送り出すことも可能になるので、是非良い若者を発掘し、ご推薦頂きたい。





## 第8分科会プログラム

< 米山奨学 >

会場名 : 会議室133・134

テーマ : 米山学友は世界を、日本を支える力

	リーダー	次期米山奨学委員長	竹内 一郎
	アドバイザー	パストガバナー (財)ロータリー米山記念奨学会理事	加納 泉
	司会	ガバナーエレクト事務所 事務局長	森久 宏
1	開会の辞	アシスタントリーダー 次期南尾張分区ガバナー補佐	高村 敦夫
2	米山奨学事業 地区の役割とクラブ委員長の役割	リーダー 次期米山奨学委員長	竹内 一郎
3	奨学金制度と世話クラブ、カウンセラー制度	アシスタントリーダー 次期米山奨学副委員長	中島 実
4	寄付金と奨学金・事業費の推移	アシスタントリーダー 次期米山奨学副委員長	杉浦 正典
5	米山学友会の現況	アシスタントリーダー 次期米山奨学副委員長	伊藤 敦夫
	(休憩)		
6	質疑応答・意見交換		
7	米山学友の卓話	米山学友	王 克光
8	講評	アドバイザー パストガバナー (財)ロータリー米山記念奨学会 理事	加納 泉
9	閉会の辞	ガバナーエレクト事務所 事務局長	森久 宏



## 第8分科会報告

### ◆米山奨学事業／地区の役割とクラブ委員長の役割◆

1952年、東京RCが米山梅吉翁の遺徳を称えて始めたこの事業は、1967年に文部省より財団法人認可を受け、現在までに世界113の国と地域出身の私費留学生14,500人を支援し、当地区でものべ850人をお世話してきた。クラブ委員長は、クラブの代表として、知識だけではなく実感で米山奨学事業をご理解頂くことから始めて頂きたい。そこで、地区委員会ではクラブ委員長と米山奨学生・米山学友が交流を図る機会を定期的に設けている。そこで得た米山への実感をクラブに持ち帰り、お伝え頂くことで、奨学金寄付の増進を図ればと考える。

地区の役割は、米山奨学生の選考と世話クラブの選定・学友の世話・奨学金寄付の増進活動の3点。以下、担当副委員長よりご報告申し上げます。

### ◆奨学金制度と世話クラブ、カウンセラー制度◆

米山奨学事業は、国内最大の民間奨学団体であるのに加え、全ての財源が全国のロータリアンの寄付で成り立ち、奨学生と直接交流を図って支援していることが特徴。米山への寄付に税控除が認められるのも、この良さを国が認めた証だと考えている。

対象は外国人の私費留学生。採用人数は新規583名・継続213名に加えて海外上級研究者2名・現地採用2名の合計800名。796名の34地区への割り振り方は、地区別の有資格者比率が1割、5割が個人平均寄付額、5割が地区別寄付総額となっている。

世話クラブは、クラブ全員でお迎えする気持ちを持ち、例会ではカウンセラー以外の会員とも活発に交流を図れるようご配慮頂きたい。カウンセラーは時として奨学生と親子以上に年が離れていることがあり、円滑なコミュニケーションがしづらい状況に置かれる場合があるが、全国のカウンセラーによるメーリングリストが設置されているので、地区だけではなくそちらにも相談するなどご活用頂きたい。

### ◆寄付金と奨学金・事業費の推移◆

現在の総資産額は80億円。寄付金は1996年をピークに減少し続けており、2005年より財政健全化のため1,000人から800人に減らした採用人員を、もとの数に戻すことが最大の課題となっている。

寄付の形はクラブ単位で定期的にご寄付頂く普通寄付と、皆様より自発的に頂く特別寄付の2種類。普通寄付は半期毎に地区より通知を差し上げているので、遅延のないよう事務局共々ご留意頂きたい。特別寄付は下限上限なし。税控除の対象になることをよりアピールして頂ければ、5,000円以上の特別寄付者に対しては、翌年1月末までに確定申告用の領収書と特定公益法人の証明書をお届けしている。対象者へきちんと配布されたかご確認頂きたい。

本日お配りした寄付納入明細をご確認の上、全国平均・地区平均を下回るクラブは一層のご努力をお願いします。地区の年度目標は普通寄付5,000円、特別寄付15,000円。毎月地区委員会から送付している明細表で動向を把握し、個別アプローチと共に、クラブ全体でもアイデアを講じて頂きたい。

### ◆米山学友会の現況◆

昨年秋、各クラブに米山記念奨学のPR用CDを送付している。米山月間等で是非ご活用頂きたい。

地区委員会では次年度、「学友の里帰り」として今年9月の委員長会議に台湾学友会の理事長をお招きすることになった。米山奨学生は卒業しても学友として一生お付き合いを頂く関係になる。彼との交流を通して、その素晴らしさを実感して頂きたい。

### ◆質疑応答・意見交換

奨学生募集の指定校制度に関する質疑応答がなされ、支給金額は一律にせず、地域物価や奨学生の生活状況等を考慮すべきという意見が出されました。

### ◆卓話◆

私は10年前に来日し、2004年に修士課程に入学。博士課程に進学するとアルバイトの時間が取れず、文部科学省の奨学金に申請した。結果は不合格で、大変悔しい思いをしたが、今は逆に感謝している。2年目で合格した米山奨学金は、ただお金をもらうだけでなく、皆様の気持ちを感じることができた。

私は今、仕事で中国・台湾・日本を往復しているが、どこへ行ってもまずロータリークラブを探し、学友会を探す。そのつながりで受けた恩恵は計り知れず、逆に私は、名古屋の学友会がもっと世界の学友とつながれるよう、活発に活動しなければならぬと痛感した。また、多くの人に米山の良さを伝えていきたい。一生ものの恩に我々ができることは、次の世代にその恩を伝えることだと考えている。

今年3月に北京で学友会が発足した。今まで私は上海へ出張したら必ず上海の学友と連絡を取っていたが、北京でも新たな出会いを楽しみにしている。

### ◆講評◆

当地区の米山への寄付は、2005年の万博準備に注力していたため強要は殆どしてこなかった。今後は是非、毎月送られてくるレポートを会長・幹事・委員長で目を通すことから始めて頂きたいと思う。地区目標の1人2万円は、(財)ロータリー米山記念奨学会の目標でもある。全国10万人のロータリアンが2万円ずつお出し頂ければ、20億円となり、従来通り1,000人に奨学金をお渡しすることができる。

奨学生は皆大変優秀で、意欲も高い。毎月の例会で奨学金を手渡し、生活状況等を気を配っているうちに自分の子供や孫より可愛く思えることもしばしば。彼らもそのことに大変感謝しており、3月28日に北京で開催された学友会発足式は、全て日本語で進行され、感極まって泣く人も多々いた。昨今何かと軋轢が報じられる日本と中国の関係だが、それを緊密にしていくには、日本の一般家庭の中まで入り込み、外交官以上に日本のことをよく知っている彼らの力を借りる以外ないと肌で感じた。これは奨学生を輩出してきた全ての国に言えることで、この制度が益々発展するよう皆様のご協力を祈念する。







## ガバナー講評



国際ロータリー第2760地区  
ガバナー

片山 主水

長時間お疲れ様でした。講評と言っても、講評できませんが、1つの感想だけ述べさせていただきます。

先程の俳句の続きで、私も1つ、作りました。先程「もっと外に出よ」という話がエレクトからありました。そこで、「外薫風元気を見せよロータ君」。ロータ君とは、PETSの時にもちよっと言ったかと思いますが、自分の心の中にいるもう1人の自分。純真で、ロータリーをよく理解する、それぞれのロータリアンの分身みたいなものですが、そのロータ君が、最近どうも元気がない。もっと外に出て、風に当たって、元気を出して欲しい。こういう句であります。格調は落ちますが、賞味期限できたてものですので贈呈しますが。

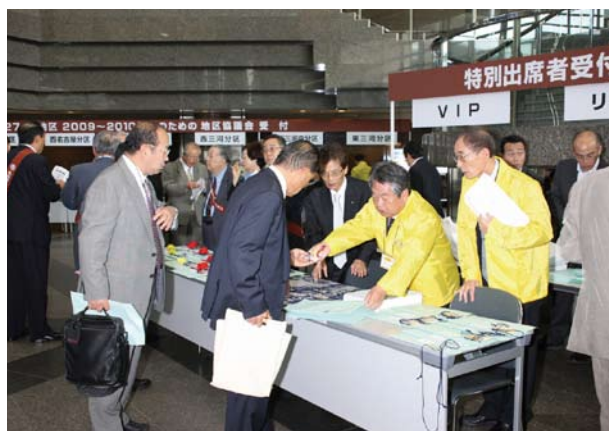
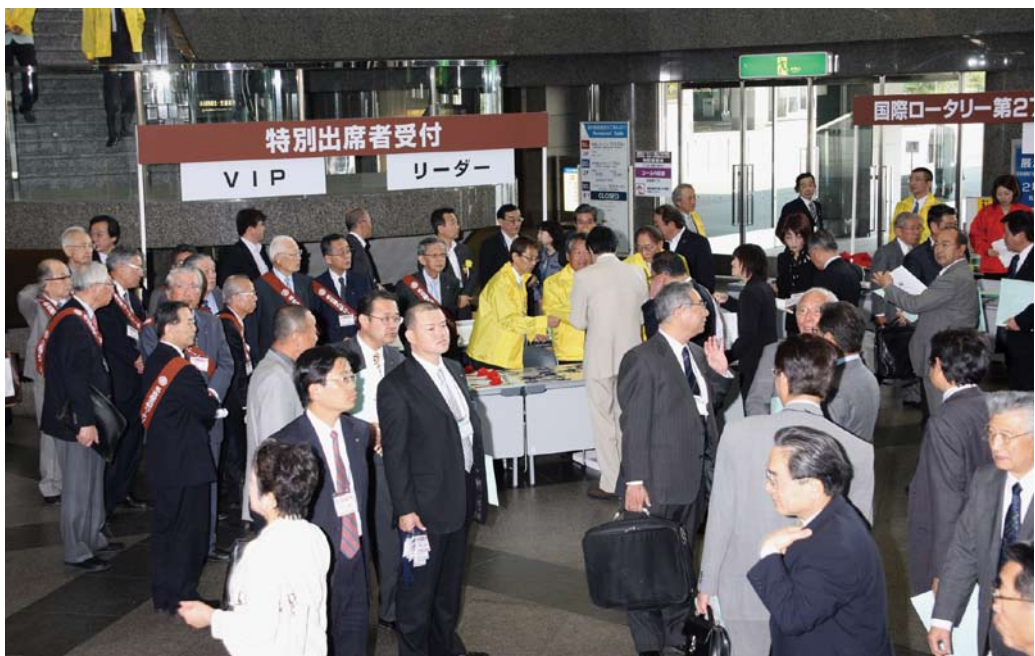
各分科会では、色々お話がありましたでしょう。そのことを皆さん、一度持ち帰って頂いて、そして反芻して、咀嚼して頂いて、今言ったロータ君と相談して、そしてクラブの皆様方と協議をして、計画を立てて頂きたい。このように思う訳です。

先般、よその地区へ行きましたら、こんな話がありました。RI会長代理が「新3H」と言いました。今までの3Hは、Health・Hunger・Humanity。これらを3Hとするロータリーの運動ですが、新しい3Hの1つはHead。頭。知識を積み重ね、情報を収集して下さい。そして頭に詰め込んで下さい。これが第1のHです。そして2つめはHeartだと仰る。知情意と言いますが、知に関することを十分に咀嚼した上で、心や精神をきちんと確立して下さい、そして、意欲を高めて下さいと言われました。最後のHはHand。実行です。技量によって実行しましょう。これを新3Hと仰いまして、私は、なかなか良い話だ、これは今日の協議会で皆さんにお伝えするのが良いと思いました。是非、その3Hでもって、計画を練って頂きたいと思う訳でございます。

1クラブ・1カラー、ディズイヤー・イズ・マイイヤー。こんな気持ちでもって、悔いのない1年を掴んで頂きますように、「クラブの伝統の中にマイイヤーを」と申し上げまして、講評、閉会のご挨拶としたいと思います。有難うございました。

# アルバム

受付風景



友愛の広場







コールロータリー名古屋による合唱

総合司会



本会議

ソングリーダー







### RC グッズ販売



### 分科会風景



ガバナー引継



地区幹事引継



ガバナースクラブバナー引継



次期地区大会案内



次期地区協議会案内







## 特別出席者名簿(1/2)

(敬称略)

役職名	氏名	所属クラブ名
ガバナー	片山 主水	名古屋東南
ガバナーエレクト	大澤 輝秀	豊川
ガバナーノミニー	田嶋 好博	名古屋北
パストガバナー	福田 浩三	名古屋空港
〃	加納 泉	名古屋中
〃	盛田 和昭	名古屋
〃	神戸 政治	あま
〃	石川 和昌	豊橋
〃	松本 宏	半田
〃	福田 清成	江南
〃	野村 重彦	刈谷
〃	豊島 徳三	一宮北
〃	大島 宏彦	名古屋
〃 ・次期地区研修リーダー	斎藤 直美	豊田
〃	江崎 柳節	小牧

役職名	氏名	所属クラブ名
地区幹事	宮崎 薫	名古屋東南
次期地区幹事	岩瀬 淳一郎	豊川
2010～2011年度地区幹事	水野 吉紹	名古屋北
次期南尾張分区ガバナー補佐	高村 敦夫	東海
次期西尾張分区ガバナー補佐	保浦 文夫	名古屋清須
次期東尾張分区ガバナー補佐	高山 光雄	名古屋空港
次期西名古屋分区ガバナー補佐	草野 勝彦	名古屋大須
次期東名古屋分区ガバナー補佐	村橋 泰志	名古屋名東
次期東三河分区ガバナー補佐	飯島 卓	蒲郡
次期西三河分区中ガバナー補佐	堀川 泰	豊田三好
次期西三河分区ガバナー補佐	石原 健一	三河安城
次期地区代表副幹事	竹本 尚美	豊川
次期地区副幹事	鳥居 信行	豊川
〃	山本 信利	豊川
〃	木下 良夫	豊川
〃	鈴木 榮一	豊川
〃	中杉 和雄	豊川
〃	戸田 俊晴	豊川
次期地区会計長	日比 嘉男	豊川
地区スタッフ	森久 宏	豊川
〃	菅沼 洋史	豊川
〃	鈴木 和夫	豊川
〃	山脇 善典	豊川
〃	田中 寛孝	豊川
〃	田中 粹人	豊川
〃	渡辺 稔明	豊川
〃	竹内 幹尚	豊川
〃	中村 泰隆	豊川
〃	久具 信夫	豊川





## 特別出席者名簿(2/2)

(敬称略)

役 職 名	氏 名	所属クラブ名
次期地区財務委員長	藤 井 伸 三	豊田
次期会員増強リーダー	山 内 登	尾西
次期ロータリー未来委員長	杉 浦 壽 康	岡崎
次期危機管理委員長	國 分 孝 雄	名古屋和合
次期拡大委員長	松 尾 隆 徳	春日井
次期クラブ奉仕委員長	藤 原 研 一	名古屋名北
次期地区研修委員長	鈴 木 孝 則	あま
次期会員増強委員長	小 山 慎 介	名古屋名南
次期クラブ奉仕副委員長	井 上 穂	豊橋ゴールドデン
次期地区総務委員長	馬 場 研 治	名古屋南
次期IT委員長	杉 浦 令 淑	名古屋大須
次期規則細則委員長	榊 原 章 夫	名古屋城北
次期広報委員長	碓 伸 夫	豊田 西
次期職業奉仕委員長	國 友 昌 大	名古屋中
次期職業奉仕副委員長	丹 羽 司 一	愛知長久手
次期社会奉仕委員長	西 脇 良 一	名古屋名北
次期社会奉仕副委員長	深 田 利 幸	豊田 東
次期RCC委員長	松 崎 美 都 子	名古屋守山
次期環境保全委員長	鈴 木 元 弘	豊田
次期国際奉仕委員長	黒 田 勝 基	高浜
次期青少年交換委員長	森 榮	一宮中央
次期世界社会奉仕委員長	籠 橋 美 久	名古屋中
次期インターアクト委員長	大 河 内 圭 一	一宮 北
次期ローターアクト委員長	富 田 雅 則	田原
次期RYLA委員長	犬 束 敏 彦	小牧
次期新世代副委員長	増 井 洋 生	小牧
次期ロータリー財団委員長	深 谷 友 尋	名古屋みなと
次期ロータリー財団副委員長 次期ロータリー世界平和フェロシッブ委員長	石 川 昌 和	豊橋 南
次期ロータリー財団副委員長 次期恒久基金副委員長	藤 田 守 彦	名古屋丸の内
次期年次寄付委員長	山 田 猛	江南
次期ポリオプラス委員長	磯 部 茂	一宮
次期補助金委員長	松 尾 憲 二 郎	小牧
次期財団奨学委員長	ミカエル カルマノ	名古屋東
次期研究グループ交換委員長	鈴 木 文 勝	小牧
次期財団学友委員長	満 田 稔	豊橋 東
次期米山奨学委員長	竹 内 一 郎	刈谷
次期米山奨学副委員長	中 島 実	名古屋北
〃	伊 藤 敦 夫	豊田 中
〃	杉 浦 正 典	豊田



# 分科会指導者名簿(1/3)

(敬称略)

## 地区協議会分科会指導者名と各分科会テーマ

総括リーダー ガバナー 片山 主水  
 サブリーダー ガバナーエレクト 大澤 輝秀

### 第1分科会：クラブ管理運営部門

会場名：レセプションホール

<会長・副会長・幹事・会計>

テーマ：ロータリーの未来はあなたの手の中に

司会：次期地区副幹事 鳥居 信行

分科会役職	役職	氏名	所属クラブ名
リーダー	ガバナー	片山 主水	名古屋東南
アドバイザー	ガバナーエレクト	大澤 輝秀	豊川
〃	ガバナーノミネー	田嶋 好博	名古屋北
〃	パストガバナー	神戸 政治	あま
〃	〃	大島 宏彦	名古屋
アシスタントリーダー	次期東尾張分区ガバナー補佐	高山 光雄	名古屋空港
〃	地区幹事	宮崎 薫	名古屋東南
〃	次期地区幹事	岩瀬 淳一郎	豊川
〃	次期地区会計長	日比 嘉男	豊川
〃	次期地区財務委員長	藤井 伸三	豊田
〃	次期会員増強リーダー	山内 登	尾西
〃	次期ロータリー未来委員長	杉浦 壽康	岡崎
〃	次期危機管理委員長	國分 孝雄	名古屋和合
〃	次期拡大委員長	松尾 隆徳	春日井

### 第2分科会：クラブ奉仕部門

会場名：センチュリーホール

<会長エレクト・副幹事・クラブ奉仕委員長・会員増強委員長・広報委員長・ロータリー情報委員長・ロータリー研修委員長>

テーマ：ロータリーの活性化

サブテーマ：ロータリーをよく理解しよう

司会：次期地区副幹事 山本 信利

分科会役職	役職	氏名	所属クラブ名
リーダー	次期クラブ奉仕委員長	藤原 研一	名古屋名北
アドバイザー	パストガバナー	福田 浩三	名古屋空港
〃	〃	盛田 和昭	名古屋
〃	〃	福田 清成	江南
アシスタントリーダー	次期東三河分区ガバナー補佐	飯島 卓	蒲郡
〃	次期地区研修委員長	鈴木 孝則	あま
〃	次期会員増強委員長	小山 慎介	名古屋名南
〃	次期クラブ奉仕副委員長	井上 穂	豊橋ゴールドデン
〃	次期地区総務委員長	馬場 研治	名古屋南
〃	次期IT委員長	杉浦 令淑	名古屋大須
〃	次期規則細則委員長	榊原 章夫	名古屋城北
〃	次期広報委員長	裕 伸夫	豊田 西
〃	2010～2011年度地区幹事	水野 吉紹	名古屋北



## 分科会指導者名簿(2/3)

(敬称略)

### 第3分科会：職業奉仕部門

会場名：会議室131・132

<職業奉仕委員長>

テーマ：職業奉仕がロータリーの基盤

司会：次期地区副幹事 木下 良夫

分科会役職	役職	氏名	所属クラブ名
リーダー	次期職業奉仕委員長	國友 昌大	名古屋中
アドバイザー	パストガバナー	石川 和昌	豊橋
アシスタントリーダー	次期西名古屋分区ガバナー補佐	草野 勝彦	名古屋大須
〃	次期職業奉仕副委員長	丹羽 司一	愛知長久手

### 第4分科会：社会奉仕部門

<社会奉仕委員長・RCC委員長・環境保全委員長>

会場名：会議室141・142

テーマ：ロータリーの未来はあなたの手の中に

サブテーマ：楽しく明るい未来のために

司会：次期地区副幹事 竹本 尚美

分科会役職	役職	氏名	所属クラブ名
リーダー	次期社会奉仕委員長	西脇 良一	名古屋名北
アドバイザー	パストガバナー・次期地区研修リーダー	斎藤 直美	豊田
アシスタントリーダー	次期西三河分区ガバナー補佐	石原 健一	三河安城
〃	次期社会奉仕副委員長	深田 利幸	豊田 東
〃	次期RCC委員長	松崎 美都子	名古屋守山
〃	次期環境保全委員長	鈴木 元弘	豊田
〃	次期地区補助金委員長	松尾 憲二郎	小牧

### 第5分科会：国際奉仕部門

会場名：会議室234

<国際奉仕委員長・青少年交換委員長・世界社会奉仕(WCS)委員長>

テーマ：夢=それを託すための国際奉仕とするために

司会：次期地区副幹事 鈴木 榮一

分科会役職	役職	氏名	所属クラブ名
リーダー	次期国際奉仕委員長	黒田 勝基	高浜
アドバイザー	パストガバナー	豊島 徳三	一宮 北
アシスタントリーダー	次期西尾張分区ガバナー補佐	保浦 文夫	名古屋清須
〃	次期青少年交換委員長	森 榮	一宮中央
〃	次期世界社会奉仕委員長	籠橋 美久	名古屋中





## 分科会指導者名簿(3/3)

(敬称略)

### 第6分科会：新世代部門

会場名：会議室224

<新世代委員長・インターアクト委員長・ローターアクト委員長・RYLA委員長>

テーマ：ロータリーの未来はあなたの手の中に

サブテーマ：新世代育成事業の原点回帰

司会：次期新世代副委員長 増井 洋生

分科会役職	役職	氏名	所属クラブ名
アドバイザー	パストガバナー	松本 宏	半田
アシスタントリーダー	次期西三河中分区ガバナー補佐	堀川 泰	豊田三好
〃	次期インターアクト委員長	大河内 圭一	一宮北
〃	次期ローターアクト委員長	富田 雅則	田原
〃	次期RYLA委員長	犬束 敏彦	小牧
サブアシスタントリーダー司会	次期新世代副委員長	増井 洋生	小牧
	次期地区副幹事	中杉 和雄	豊川

### 第7分科会：ロータリー財団部門

<ロータリー財団委員長>

テーマ：ロータリーの未来はあなたの手の中に

サブテーマ：① 実践しよう 世界平和の為に ② 実践しよう 世界の子どもの為に

③ 実践しよう 識字率向上と水保全の為に

司会：次期地区副幹事 戸田 俊晴

分科会役職	役職	氏名	所属クラブ名
リーダー	次期ロータリー財団委員長	深谷 友尋	名古屋みなと
アドバイザー	パストガバナー	野村 重彦	刈谷
アドバイザー	パストガバナー・R財団カウンセラー	江崎 柳節	小牧
アシスタントリーダー	次期東名古屋分区ガバナー補佐	村橋 泰志	名古屋名東
〃	次期ロータリー財団副委員長 次期ロータリー世界平和フェロニッパ委員長	石川 昌和	豊橋 南
〃	次期ロータリー財団副委員長 次期恒久基金副委員長	藤田 守彦	名古屋丸の内
〃	次期年次寄付委員長	山田 猛	江南
〃	次期ポリオプラス委員長	磯部 茂	一宮
〃	次期補助金委員長	松尾 憲二郎	小牧
〃	次期財団奨学委員長	ミカエル カルマノ	名古屋東
〃	次期研究グループ交換委員長	鈴木 文勝	小牧
〃	次期財団学友委員長	満田 稔	豊橋 東

### 第8分科会：米山奨学部門

<米山奨学委員長>

テーマ：米山学友は世界を、日本を支える力

司会：次期ガバナー事務所事務局長 森久 宏

分科会役職	役職	氏名	所属クラブ名
リーダー	次期米山奨学委員長	竹内 一郎	刈谷
アドバイザー	パストガバナー	加納 泉	名古屋中
アシスタントリーダー	次期南尾張分区ガバナー補佐	高村 敦夫	東海
〃	次期米山奨学副委員長	中島 実	名古屋北
〃	〃	伊藤 敦夫	豊田 中
〃	〃	杉浦 正典	豊田
	米山学友	王 克光	



# 次期地区委員出席者名簿(1/2)

○ 副委員長 \* クラブ役職兼務 (敬称略)

## 【第1分科会】

地区財務委員会	○	河村 嘉男	小牧
〇ータリー未来委員会		住田 正夫	名古屋大須
		早川 八郎	春日井
	*	加藤 知成	東知多
	*	大野 良之	尾張旭
拡大委員会	○	北野 庸夫	あま
		新美 義博	東知多
		齋藤 慎一郎	名古屋守山
危機管理委員会		神田 憲	名古屋大須
地区大会企画委員会	*	中込 清周	名古屋名東
		津川 聖子	名古屋名東
		神野 紀郎	豊橋
		黒谷 尚弘	豊橋

## 【第2分科会】

研修委員会	○	前田 孝司	刈谷
	○	榊原 肇	半田南
		瀧本 守	尾張中央
		西岡 則男	一宮中央
	*	山田 晃司	瀬戸
		小島 啓治	春日井
		関口 宗男	名古屋みなと
		鈴村 幸雄	豊田中
		木村 高章	豊橋北
地区総務委員会	○*	高井 克憲	名古屋栄
		江口 博寿	名古屋南
		市川 幾雄	岡崎東
IT委員会	○*	尾本 和弘	名古屋東南
		田中 粹人	豊川
	*	尾関 和成	名古屋和合
		富田 佳央	豊橋
		山口 誠一	東知多
		磯貝 廣治	安城
		伊東 聖史	小牧
		酒井 兼利	稲沢
規則細則委員会		小酒井比呂志	名古屋名駅
会員増強委員会	○	太田 宗一郎	刈谷
		塚本 胤男	稲沢
		津坂 守英	名古屋城北
		谷村 泰裕	豊橋ゴールデン
		水野 裕善	名古屋丸の内
		光岡 新吾	豊田
		竹内 俊介	半田
		榎野 智之	名古屋和合
広報委員会	○*	野々垣 敬	名古屋名北
		山口 眞	名古屋中
		木下 桂一	豊田
		城野 八代江	名古屋名駅
		川澄 哲裕	半田南
		堀尾 明史	尾張中央
		青木 勇作	岡崎
クラブ奉仕委員会		多田 通夫	名古屋城北

クラブ奉仕委員会		水野 聖仁	小牧
		糸井 学	名古屋みなと
		天野 正明	名古屋瑞穂
	*	重富 亮	名古屋守山
		志賀 弘嗣	蒲郡
	*	松井 勇	豊田

## 【第3分科会】

職業奉仕委員会		岩間 俊夫	名古屋西
		太田 達夫	名古屋城北
		佐藤 正延	名古屋守山
		匹田 雅久	豊橋北
		早川 和男	名古屋東山
		村井 總一郎	豊橋
		風岡 保広	春日井
		大島 浩嗣	名古屋瑞穂
		坪井 義之	名古屋名駅
		渡邊 一平	名古屋中

## 【第4分科会】

社会奉仕委員会		鈴木 宏司	半田南
		浅原 光男	名古屋南
		川島 悦雄	名古屋中
		稲葉 徹	名古屋瑞穂
		新沼 操	名古屋大須
	*	長谷川 周義	名古屋錦
		酒井 基裕	蒲郡
		藤野 和裕	豊川
RCC委員会		松本 淳	春日井
		縣 政行	豊橋
環境保全委員会	○	伊藤 一義	豊橋東
	○	服部 滋	名古屋和合
		都築 義勝	豊田東
		加藤 卓秀	豊橋北
		大矢 裕慈	名古屋中
		大岩 信子	半田南
	*	岡嶋 靖雄	春日井
		杉山 仁朗	瀬戸北
		横田 徳久	名古屋名北
		高橋 豊彦	豊橋
		古井 弘二	豊田西
		八神 基	名古屋栄
		鶴飼 昌治	名古屋守山
		神谷 龍司	刈谷

## 【第5分科会】

国際奉仕委員会	○	平尾 節子	瀬戸北
	○	大竹 一義	瀬戸
		堀江 英弥	名古屋大須
	*	箕輪 良孝	尾張旭
	*	三浦 幸治	名古屋栄
		神戸 邦夫	豊橋南



# 次期地区委員出席者名簿 (2/2)

○ 副委員長 \* クラブ役職兼務 (敬称略)

国際奉仕委員会  
青少年交換委員会

- 森田 堅一 名古屋清須
- 村瀬 竜雄 東知多
- \* 野村 紀代彦 刈谷
- 山本 雅久 豊橋ゴールデン
- 岡田 雅隆 犬山
- 伊藤 秀樹 名古屋中
- 安藤 隆利 名古屋名駅
- 服部 雅紀 名古屋和合
- 佐藤 文昭 愛知長久手
- 酒井 法丈 豊田
- \* 和田 富夫 名古屋名東
- 三浦 俊彦 名古屋錦
- 本間 毅 岡崎南
- 村瀬 秀和 東海
- 度会 尚志 豊川宝飯

世界社会奉仕委員会

【第6分科会】  
新世代委員会

- \* 沓名 令亨 安城
- 加藤 康治 一宮中央
- \* 米山 郁生 名古屋名東
- 加藤 令吉 瀬戸
- 松坂 良太 豊橋
- 串田 正克 名古屋空港
- 川村 荒治 豊橋
- 服部 英男 岡崎南
- 内藤 雄功 豊川
- 早川 勝博 岡崎
- 谷川 修 名古屋
- 安藤 幸司 岡崎南
- \* 石川 義典 安城
- 八谷 潤一 津島

インターアクト委員会

ローターアクト委員会

- 高須 洋志 名古屋瑞穂
- 秋田 敬治 豊田
- 加藤 辰己 一宮中央
- 澤田 昌久 江南
- 山崎 達也 岡崎
- 寺本 善雄 名古屋みなと
- 高須 博久 豊橋
- 小澤 幸男 名古屋大須
- 長尾 秀義 小牧
- 高山 光平 名古屋葵
- 若林 正治 豊橋ゴールデン
- 竹内 幹尚 豊川
- 谷山 芳和 豊田西
- 北 登一 名古屋南
- 藤井 忠 名古屋清須
- 鹿嶋 敏昭 名古屋中
- 稲垣 良次 西尾
- 前田 佳男 半田
- 杉本 親保 東海

RYLA委員会

【第7分科会】  
年次寄付委員会

- 田村 幹洋 新城
- 中林 正人 名古屋空港
- 加藤 徳治 東海
- 山田 謹一 あま
- \* 藤城 民男 豊橋ゴールデン
- 塚本 幸夫 刈谷
- 吉原 孝彦 刈谷
- 伊奈 一郎 常滑

恒久基金委員会

ポリオプラス委員会

- 成田 幸太郎 稲沢
- 佐々木 久直 一宮
- 岩崎 光記 名古屋名駅
- 大西 和夫 名古屋東山
- 松本 敏春 豊田西
- 加藤 憲治 あま
- 高村 睦浩 知立
- 櫻井 繁 名古屋南
- 渡邊 源市 名古屋千種

補助金委員会

財団奨学委員会

- \* 大矢 英憲 名古屋昭和
- 長江 克彦 瀬戸
- \* 村上 雅則 豊田
- 天野 卓 西尾
- 石川 百代 豊橋

研究グループ交換委員会

- 成田 徹 三河安城
- 高橋 秀治 犬山
- 西川 博 名古屋丸の内
- 熊澤 勝則 尾張中央
- \* 金井 和治 名古屋空港
- 小早川 慶光 名古屋東山
- 原野 勝至 名古屋栄
- 柏木 博喜 名古屋和合

財団学友委員会

- 梅村 正明 豊田
- \* 増田 盛英 名古屋瑞穂
- 羽根田 邦彦 豊田中
- 横山 真喜男 安城
- 矢形 修己 名古屋北
- 柴田 憲一 豊橋東

【第8分科会】  
米山奨学委員会

- 藤本 博之 名古屋西
- 小野 文憲 岡崎東
- 大西 弘高 名古屋東南
- \* 坂井 則夫 名古屋西
- 鈴木 和彦 あま





# 出席者名簿(1/8)

(敬称略)

\* クラブ内兼務 ☆ 地区委員会兼務

## 南尾張分区【7R.C.】

分科会	次期クラブ役職	半田	常滑	東海	東知多
1	会長 副会長 幹事 会計	楢山 晃雄 伊東 良夫 山崎 正夫 小林 茂	竹内喜陽雄 伊奈 正彦 井上 義春	増岡 達一 柴田 康仁 佐藤 雅之 菊池 玲子	熊澤 岷 山口 誠一 矢野 晴彦 岡井 良政
2	会長エレクト 副幹事 副幹事 クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	小栗 孝久 稲葉 民安  川口 新平 畑中 雅之 鈴木せつ子 新美 忠夫	竹内 敬二  牧野 克則  藤井 義久 伊奈 輝三	河合 孝治 北川 修一  加古 恭之 小島 博也 森合 久春	村瀬 竜雄 長坂 昭彦 内田 薫  花井 文雄 花井 文雄 花井 文雄
3	職業奉仕委員長	金澤 憲二	水野 福三	永森 清 坂野 公俊	藤澤 健夫 白羽 義高
4	社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長	☆ 竹内 俊介 (代)水野隆芳 榊原 秀光	日高 晋典 関 一雄		* 白羽 義高
5	国際奉仕委員長 青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長	手島 寿宏	新井 富雅	早川 式彦	高津 忠男
6	新世代委員長 ローターアクト委員長 インターアクト委員長 RYLA委員長	松本 順子	清水 昭博	大林香瑞人	加藤 知成 * 加藤 知成
7	ロータリー財団委員長	内田 栄一	* 新井 富雅	小出 常雄	小笠原直樹
8	米山奨学委員長	太田 竹司	伊藤 明彦	河合 良泰	* 小笠原直樹

分科会	次期クラブ役職	半田南	知多	大府
1	会長 副会長 幹事 会計	石川 勝彦 岡戸 利直 鈴木 健司 斎藤 健一	坂本 竹敏 財津 泰宜 鈴木 直幸 中村 泰忠	門脇 武 加藤 弘人 平野 真
2	会長エレクト 副幹事 副幹事 クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	☆ 新美 茂 鈴木 宏司  間瀬 正 服部 茂雄	久野 完治 林 秀人  木下 勝美  (副)鈴木鉦直 平松 典保	木村 正嗣  久野 春雄 寺田 諭
3	職業奉仕委員長	(代)山本慎治	竹内 功成	加藤 正俊
4	社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長	* ☆ 沢田 信 沢田 信 大岩 信子	永井 喜義	相羽 英人
5	国際奉仕委員長 青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長		葉山 博美	小寺 一成
6	新世代委員長 ローターアクト委員長 インターアクト委員長 RYLA委員長	* 吉村 比富	山口 清文	外園 茂
7	ロータリー財団委員長	都築 延男	(副)早川佳教	
8	米山奨学委員長	榊原 邦彦	(副)竹内義将	



# 出席者名簿 (2/8)

(敬称略)

\* クラブ内兼務 ☆ 地区委員会兼務

## 西尾張分区【9R.C.】

分科会	次期クラブ役職	一宮	津島	尾西	一宮北	稲沢
1	会長 副会長 幹事 会計	森 克彦 野木森 栄 鎌田 芳彰	清水 裕行 浅井 彦治 伊藤 基 前田 昭生	☆ 大飼万壽男 山内 登 水谷 豊 武田 守正	矢野 尚彦 村瀬 圭吾 * 水野 憲司	矢野 慎史 岡田 義夫 鵜飼 正巳 加藤 耐
2	会長エレクト 副幹事 クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	日野 正美 滝 善藏 牛田 猛 森 初男 伊藤 幸一 青山 佳裕	住田 正幸 山田 勝弘 伊藤 幸蔵 寺田 晏章 伊藤 誠 服部 武	* 水谷 豊 猪子 雅王 岩田 勝義 吉田 民雄 清水 稔彦 加藤 千博	角田 隆幸 山内 國雄 林 岡成	☆ 成田幸太郎 鈴木 程久 遠藤 正昭 池田 邦雄 酒井 兼利 伊藤 彰
3	職業奉仕委員長	岩田 功	田原 俊志	山内 幸夫	岩田 全功	鳥本 雄二
4	社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長	榊原 讓	加藤 則之	不破恵一朗	船越 孝	野々部昭男
5	国際奉仕委員長 青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長	酒井 孝 猪子 誠兒	* 加藤 則之 岡本 康義	大島 晋作 前田 正和	藤原 峯忠	川合 正剛 永井 伸治
6	新世代委員長 ローターアクト委員長 インターアクト委員長 RYLA委員長	山口 元彦 松原 直次 墨 芳郎	稲垣 宏高 * 稲垣 宏高	横山 弘 安藤 巖 平松 清美	☆ 大河内圭一	新海 勲
7	ロータリー財団委員長	長谷川勝久	伊藤 彰浩	(代)川出珂久治	(代)水野憲司	樋田 克史
8	米山奨学委員長	松田 暁昌	相羽あつ子	森 新	(代)三輪茂富	浅井 耕治

分科会	次期クラブ役職	あま	名古屋清須	尾張中央	一宮中央
1	会長 副会長 幹事 会計	山田 幹夫 真木 伸一 上田 博行	☆ 後藤 稔 神田 利雄 星野 清久 藤井 忠	平岩 慎次 熊澤 勝則 太田 吉宣 赤堀 博宣	白木 公明 木全智枝子 谷 進 松原 隆二
2	会長エレクト 副幹事 クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	☆ 岩島 裕芳 水谷 安紀 鈴木與左衛門 鈴木 孝則 神田 康史 伊藤 英毅	和田 典之 星野 申治 梅田 慎也 後藤 鈴明 田邊 辰彦 櫻井 利夫	* 住川 誠一 中村 隆文 中村 隆文 西村 壽風 藤岡 重光 片山 進	☆ 加藤 辰巳 永田 正 小島 三男 * 小島 三男 * 大森 進 大森 進
3	職業奉仕委員長	前田 重廣	辻 勇夫	安田 基甫	鹿島 兼一
4	社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長	河瀬 文一 後藤 真 宇津山 弘	(代)浅田嘉行 高山 萬三 守野 暢洋	(代)平野弘康 沖野 満 日比野 豊	倉地 伸幸 鵜飼 俊光 森 俊一郎
5	国際奉仕委員長 青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長	加藤 春視	(代)鴨井敏秋	岩崎 改	坂田 義一 春木 和美 森 眞
6	新世代委員長 ローターアクト委員長 インターアクト委員長 RYLA委員長	田中 正博	鳥居 利一	尾関 正美	内田泰潤徳
7	ロータリー財団委員長	篠田 正志	伊藤 昇	山本 正則	
8	米山奨学委員長				



# 出席者名簿 (3/8)

(敬称略)

\* クラブ内兼務 ☆ 地区委員会兼務

## 東尾張分区【11R.C.】

分科会	次期クラブ役職	瀬戸	犬山	江南	小牧	春日井	尾張旭
1	会長 副会長 幹事 会計	☆ 加藤 陸彦 加藤 令吉 加藤 定江 玉井 徹	朱宮 新治 鷲野 光司 杉本 治彦 河田 敏和	倉知 正憲 松岡 一成 片平 博己 滝 勝夫	濱口 栄男 橋本 晃暢 増井 洋生 中村 明	山田 治 社本 太郎 園原 信五	丹羽 敏行 山田 直樹 加藤 清久 松下 洋一
2	会長エレクト 副幹事 クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	☆ 勝谷 哲次 井上 博 加藤 令吉 柴田善右エ門 加藤 恵子 山田 晃司	☆ 大島 克己 岡田 雅隆 安田 新平 大島 克己 山根 雄司	古田 嘉且 岩田 静夫 大塚 祥敬 伊藤 靖祐 長瀬 晴義 安藤喜代司	* 大島 賀樹 堀井 武 山田 政二 長谷川憲治 木田 陽子 五藤 隆夫 飯田 資浩	岡嶋 靖雄 加藤久仁明 清水 勲 大畑 一久	* 山田 直樹 唐井 仁一 山田 直樹 谷口 伸夫 勝屋 弘忠 谷口 伸夫
3	職業奉仕委員長	森脇 文直	近藤 斉宏	早川 正輝	小栗 正安	伊藤 純	西尾 輝久
4	社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長	岡山口育男 * 山口 育男	大澤 渡 紀藤 政司	川崎 良一 長谷川優子	渡邊 敬文 名和 千博	蓮野 美廣 * 蓮野 美廣	大野 良之
5	国際奉仕委員長 青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長	加藤 景三	(副)日野清正	熊澤 治夫	* 竹内 友康 竹内 友康	林 憲正	飯田 幸雄
6	新世代委員長 ロータリーアウト委員長 インターアウト委員長 RYLA委員長	刑部 祐介 鈴木 光彦	原 正男	猪子 明	☆ 犬東 敏彦 ☆ 犬東 敏彦 伊藤 雄介 堀井 武	藤本セツ子	福岡 健
7	ロータリー財団委員長	寺田 悟	木村 完	稲山 赫己	☆ 松尾憲二郎	梅田 英夫	大竹 薫
8	米山奨学委員長	加藤五津美	吉野 育志	富永 典夫	河合 美彦	塚本 兼光	箕輪 良孝

分科会	次期クラブ役職	名古屋空港	瀬戸北	岩倉	名古屋城北	愛知長久手
1	会長 副会長 幹事 会計 会長エレクト 副幹事	石川 良治 照井 通夫 栗田 和典	大竹 良太 小澤 修 若杉 福雄 近藤 博資	* 宮田 浩明 深石 公彦 井上 隆義 関戸 一雄	馬場 博通 宮嶋 賢一 後藤 訓美 ☆ 太田 達夫	水野 一久 金田 宗博 伊藤 広治 大島 昭夫
2	クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	* 波多野 真 照井 通夫 増田 勝 太田 哲郎 溝口 英雄	* 若杉 栄克 小澤 修 波多野寿一 加藤 光枝 山本 修	* 深石 公彦 有本 裕子 深石 弘 原 弘	* 小塚美知子 奥田 葵 筒井 俊秋 * 村田 達哉 ☆ 多田 通夫 堀田 徹	* 山田 文明 加藤 義忠 吉田 一子 伊藤 高義
3	職業奉仕委員長 社会奉仕委員長	武田 英昭 内海 辰巳	青山 雅彦 平岩 太伸	原 弘 山内 嘉久	岩田 佳之 岩田 貴子	日野 典子 松原 正敏
4	RCC委員長 環境保全委員長	前田 和彦	水野半次郎	* 山内 嘉久 * 山内 嘉久	* 岩田 貴子	* 松原 正敏 * 松原 正敏
5	国際奉仕委員長 青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長	安川 正勝	中島 英海	* 長谷川義夫 * 長谷川義夫 * 長谷川義夫	(代)村田達哉 * (代)村田達哉 * (代)村田達哉	寺尾 隆 * 寺尾 隆 * 寺尾 隆
6	新世代委員長 ロータリーアウト委員長 インターアウト委員長 RYLA委員長	井上 政秋	伊藤 保徳	* 大江 秀和 * 大江 秀和 * 大江 秀和 * 大江 秀和	* 小原 久和 * 小原 久和 * 小原 久和 * 小原 久和	安田 茂樹 * 安田 茂樹
7	ロータリー財団委員長	金井 和治	坂田 隆	河村 金明	溝上 正貴	加藤 義忠
8	米山奨学委員長	安藤日出男	堀 真典	関戸 一雄	太田 光将	白石政二郎





# 出席者名簿(4/8)

(敬称略)

\* クラブ内兼務 ☆ 地区委員会兼務

## 西名古屋区分【12R.C.】

分科会	次期クラブ役職	名古屋	名古屋西	名古屋南	名古屋みなと	名古屋東南	名古屋中
1	会長 副会長 幹事 会計	齋藤 英彦 渡邊 文雄 杉浦 典男 山口 勝弘	大竹 勇司 片桐 清志 岡本 金久	篠瀬悠紀夫 森口 雅文 浦野 廣高 加藤 明司	小島 清路 才本 清継 服部 貞男	近藤 信之 岩崎 誠二 下郷 卓弥 伊東與有三	堀江 陽平 鬼頭 釵二 占部 憲一 飯田 鳴登
2	会長エレクト 副幹事 クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	(代)社本光永 (代)中野義久 坂 直樹 盛田 淳夫 市川 周作 石田 喜樹	宮田 紀昭 水野 隆二 神尾 隆 (副)杉本邦彦 酒井 義孝	近藤 禎男 江口 博寿 森口 雅文 渡邊 将人 水野耕太郎 奥山 清介	渡辺 健彦 寺本 善雄 高田 和裕 糸井 学 野村 順雄	山口 剛男 堀田 努 佐久間貞介 浜崎 明 伊藤 秀雄	高橋公比古 梶田 知 白瀧 正人 山口 忍 瀧野 正剛 岡野 剛久
3	職業奉仕委員長	白木 和夫	古市 栄一	異相 武憲	三枝樹明道	鋤柄 喜彦	佐藤 貞明
4	社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長	* 滝 茂夫 富田 英之	大杉 誠 川島 誠	林 幸春 桂 洋司	渡辺 英司	薬谷喜世志	佐藤 友治 大浦 泰博 (副)仁田幹治
5	国際奉仕委員長 青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長	(代)高松正敏	坂井 則夫	筒井 信之	高村 芳行	中村 規脩	坪井 進悟
6	新世代委員長 ロータリーアウト委員長 インターアウト委員長 RYLA委員長	加藤 明宏	神野 富三	藤田 彰男 坪井 良憲	* 鈴木 哲 鈴木 哲	中島 美恵	荒川 雅義
7	ロータリー財団委員長	浅野 純史	小出 美孝	内田 安彦	(副)遠藤孝次郎	尾本 和弘	立松 洋司
8	米山奨学委員長	正木 利和	水谷 博之	若杉 喬	山田 和男	牧野 弘明	岡崎 亨

分科会	次期クラブ役職	名古屋瑞穂	名古屋大須	名古屋栄	名古屋名南	名古屋名駅	名古屋丸の内
1	会長 副会長 幹事 会計	増田 盛英 田中 政雄 高木 勝 田中 英雄	内藤 明 近藤宏一郎 柴岡 正将 岡田 尚彦	長瀬 諭 森下 幹人 小橋 忠直 安藤 一佳	小野 雅之 水野 俊男 木下 福郎 猪村 美之	小西 忠昭 田口 望 遠藤 泰昭 笹谷 俊道	後藤 敏 池井戸貞夫 岩田 宏 安江 英雄
2	会長エレクト 副幹事 クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	田中 隆義 加納 裕 (代)森 恒夫 野崎 洋二 岩崎 道夫 松井 善則	岩崎 征一 松本 哲朗 太田 裕 (代)大原敏正 吉田 明夫 尾上 昇	立松 賢 林 国太郎 葛城 敏弘 池山 健次	* 太田 敦士 吉木 邦男 水野 俊男 太田 敦士 朝比美和子 太田 敦士	☆ 西川 富夫 小酒井比呂志 田口 望 (副)神野重行 河田 正 名塩 孝	* 石井里恵子 森田 正樹 石井里恵子 林 博樹 猪飼千壽子 渡邊 徹雄
3	職業奉仕委員長	岩田 修司	渡辺 観永	浅野 了一	児島 徳和	深澤 良介	近藤 智洋
4	社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長	内田 久利	前田 隆久	上坂 寛文	佐々木 眞	川村 勝廣	成田 勝彦
5	国際奉仕委員長 青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長	入江 理	高木 政義	牧 一美	大橋さなえ 杉山 隆秀	山本 裕三 藤井 圓隆	加藤 久明 植木 広次
6	新世代委員長 ロータリーアウト委員長 インターアウト委員長 RYLA委員長	* 西本 哲 西本 哲	加藤巳千彦	小川 隆	加藤 英敏 木村 猛	寛 正紀	桑原幸太郎
7	ロータリー財団委員長	佐藤 一郎	伊藤 与則	高井 克憲	榊原 和美	松浦英一郎	和田 直美
8	米山奨学委員長	渡辺喜代彦	湯山 淳三	(副)川井健司	林 正人	堀田 豊彦	磯部 徹



# 出席者名簿 (5/8)

(敬称略)

\* クラブ内兼務 ☆ 地区委員会兼務

## 東名古屋分区【11R.C.】

分科会	次期クラブ役職	名古屋北	名古屋東	名古屋守山	名古屋和合	名古屋名東	名古屋名北
1	会長 副会長 幹事 会計	石田 正城 上田 圭祐 田中 正樹 山口 兼市	二村 満 清水 恭一 浜 洋一 多和田 武	重富 亮 井上 誠 太田 健一	近藤 東臣 一柳 幸 横井 辰幸 吉田 正道	齋藤 道雄 湯浅 勝治 早野 恒孝 佐藤慎一郎	石黒 勉 小関 敏光 小出 三郎 柴山 利彌
2	会長エレクト 副幹事 クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	近藤 和利 岡部 務 * 上田 圭祐 * (代)菱田孝行 * 待井 雄介 待井 雄介	* 柳澤 幸輝 * 柳澤 幸輝 山田 信二 岩口 孝一 * 本田伸太郎	伊藤 陽介 * 松崎美都子 樋口 武人	林 邦司 夏目 稔 * 宮下幸二郎 * 榎野 智之 柏木 順志	奥 佳澄 北村 正光 * 湯浅 勝治 * 鈴木太刀雄 和田 富夫 米澤 弘和	伊藤 晋一 野々垣 敬 * 伊藤 晋一 * 西脇 良一 * 野々垣 敬 * 岩田 満治
3	職業奉仕委員長	伴野 友昭	岸田 正昭	木村 邦彦		竹中 僑浩	近松 均
4	社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長 国際奉仕委員長	山田 博 * 山田 博 溝口 治	平野 正美 福谷 正男 今井 俊平	* 鷗飼 昌治 木村 隆之	相羽 繁生 野崎 敏夫 尾関 和成	都築八千代 中村 公彦 米山 郁生	梅村美知容 宇都木 寧
5	青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長						
6	新世代委員長 ローターアクト委員長 インターアクト委員長 RYLA委員長	* 中村 陽公 * 中村 陽公	鴨頭 治彦 國府谷俊盛	坂田 尋子 *	亀井 敏勝 * 亀井 敏勝	加藤嘉一郎 * 丹羽 幸 * 丹羽 幸	山本 篤
7	ロータリー財団委員長	吉田 正克	稲垣 治郎	佐藤 良一	須賀邦一郎	中込 清周	梶川 久雄
8	米山奨学委員長	石原 紀賢	(副)森上道康	(副)鈴木 樞	田中 正次	梶間 誠	尾關實津成

分科会	次期クラブ役職	名古屋千種	名古屋昭和	名古屋錦	名古屋東山	名古屋葵
1	会長 副会長 幹事 会計	舎人 経昭 谷口 優 池森 由幸 吉田 玄	鈴木 重幸 前田 圭佑 田中 邦幸	中山 信義 林 光夫 近藤 謙治	中島 譲治 戸田 勝儀 鈴木 宏治 松野 一彦	野村 尚史 加納 伸康 浅野 哲司
2	会長エレクト 副幹事 クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	三好 親 伊藤 健文 堀江 宏輝 * (副)鈴木理之 久野 峯一	* 乃一 稔 木下 実 乃一 稔 * 名倉 嗣治 井上 雅之 杉田 等	丹羽 繁 前田 元弘 後藤 博文 * ☆	平下 三朗 山元 康裕 近藤 収 上田 敏幸 近藤 正美 早川 和男	青木 昭憲 古川 智章
3	職業奉仕委員長	樫尾 富二	大矢 英憲	* ☆ 三浦 俊彦	* ☆ 早川 和男	村上 政喜
4	社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長	大口 弘和	大瀬 力	長谷川周義	金田 英和	越野 安彦
5	国際奉仕委員長 青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長	江口 武史	高村 富三 渡邊 直樹	* ☆ 長谷川周義 * ☆ 三浦 俊彦	* 金田 英和 小林三重子	吉田 龍宏 阿部 恵彦
6	新世代委員長 ローターアクト委員長 インターアクト委員長 RYLA委員長	山本 英次 足立 一郎	巢山 公康	* 北村 隆子 * 北村 隆子	* 佐藤 敏夫 * 佐藤 敏夫 * 佐藤 敏夫	(副)加藤久雄
7	ロータリー財団委員長	(代)萩原喜代子	横田 幸三	金子 紀子	濱田 康喜	岡田 浩人
8	米山奨学委員長	(代)松居敬二	小川 正夫	* 金子 紀子	渡邊 万里	谷口 善彦



# 出席者名簿(6/8)

(敬称略)

\* クラブ内兼務 ☆ 地区委員会兼務

## 東三河分区【13R.C.】

分科会	次期クラブ役職	豊橋	蒲郡	豊橋北	豊川	田原	豊橋南	新城
1	会長 副会長 幹事 会計	竹内 清人 石黒 功 柴田 宏巳 高山 景一	藤田喜一郎 伊藤 将	羽田 明弘 福井 英示 小杉幸一郎 ☆ 匹田 雅久	安田 一夫 永嶋 喜昭 樋口 俊寛 大西 正純	広中 貴彦 山田 年清 大河 直樹 北山 太郎	木下 治 足立 健一 内山 昌久 小野喬四朗	中島 忠幸 森 美智明 夏目 文男 小林 弘和
2	会長エレクト 副幹事 クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	☆ 村井總一郎 * 佐々木利政 ☆ 石黒 功 川村 荒治 山田 享司 宮田 正人	鈴木 岳嗣 仲田 康宏 * 本多 英夫 金原 久雄 大竹 勝俊 中村 仁	鈴木伊能勢 * 佐藤 元英 福井 英示 兵藤 俊朗 高畑 昌隆 高倉 宣夫	☆ 山本 信利 寺部 重人 ☆ 戸田 俊晴 ☆ 竹本 尚美 永井 康允 ☆ 中杉 和雄	佐野 朝海 河辺 勝巳 大羽 康彦	* 神谷 浩史 森 慎一郎 足立 健一 白井 収 西川 滋 河合 秀矩	坂巻 邦彦 川合 和彦 中澤 輝昭 金沢 政樹 夏目 工 壽昌 宏之
3	職業奉仕委員長	神野 吾郎	鈴木 康仁	熊田嘉一郎	鈴木 和夫	藤城 隆雄	金田 賢也	浅野 強
4	社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長	近藤 眞 疋田 淳 青木 良浩	鈴木 康仁	藤本 孝宏	田中 寛孝	仲谷 修	高須 康彰	加藤 久明
5	国際奉仕委員長 青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長	水藤 之資	小田 康資	中西 良仁 鈴木 宣央	伊藤 文則 山本 稔	河辺 純夫 (代)鈴木 進	(代)吉野勝巳	戸田 英志 高柳 優治
6	新世代委員長 ロータリーアウト委員長 インターアクト委員長 RYLA委員長	☆ 山本 光伸 高須 博久 松岡真由美	真野 浩隆	夏目 憲永	中村 泰隆	藤城 公成	鈴木 健一	松井 章泰
7	ロータリー財団委員長	花田 邦司	金田 章	谷山 勉	小澤 行雄	河合 利則	☆ 神戸 邦夫	西郷 省吾
8	米山奨学委員長	河合 良之	陶山登士夫	松井 由次	鈴木 敬吾	鈴木 進	藤城 俊明	宮本 俊雄

分科会	次期クラブ役職	渥美	奥三河	豊川宝飯	豊橋ゴールデン	田原パシフィック	豊橋東
1	会長 副会長 幹事 会計	神谷 篤治 * 真野 博久 鬼頭 政	佐々木洋子 金田 直孝	水野 太一 岩瀬 靖宏 原田 邦夫	高橋 英昭 畑野 泰志 白井 正樹 岡本 久永	柴田 清 豊田 慈澄 戸田 芳浩	河合 純夫 川西 裕康 渡邊 茂
2	会長エレクト 副幹事 クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	荒木 茂 朽名 誠 河合 光志 金沢 孝幸	* 石田 吉孝 東野 和敏 石田 吉孝 伊藤 武	夏目 雅康 高桑 耐 大木 健市 副小野喜明 伊原 良碩 伴 辰三	☆ 杉原 敏雄 井上 穂 * 畑野 泰志 宇藤 信 竹田 昌弘 副高畑皓一	鈴木 卓 大久保 寛 白井 悟 鈴木 達司 佐野 辰巳	(代)平野正博 伊藤 篤哉 大野 哲 西 義雄
3	職業奉仕委員長	青山 房生	宮下伊奈男	樺山 修一	神谷 馨	河辺 暁雄	松下 泰三
4	社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長	(代)真野博久	後藤 和治	滝下 勲 加山 昌弘	杉浦 宏始 伊藤隆一郎 富田 正行	鶴飼 和甫	及部 多高
5	国際奉仕委員長 青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長	森下 一良	三崎 敦	後藤 文良	真野 善和	小川 高成	山本 隆之
6	新世代委員長 ロータリーアウト委員長 インターアクト委員長 RYLA委員長	川口 敏郎	伊藤 誠	星川 佳伸	大羽 重治	河合 成幸	西 崇秀
7	ロータリー財団委員長	井本 宏	関谷 徹	柴田 勝	藤城 民男	金田 眞	小林 佳雄
8	米山奨学委員長	(代)三浦正好		近田 邦満	外山 和夫	富田 政彦	杉浦 文彦





# 出席者名簿(7/8)

(敬称略)

\* クラブ内兼務 ☆ 地区委員会兼務

## 西三河中分区 [9R.C.]

分科会	次期クラブ役職	岡崎	豊田	岡崎南	豊田西	岡崎東
1	会長 副会長 副会長 幹事 会計	奥瀬 勇作 梶川 志郎	☆ 岡田 勝美 梅村 正明	天野 精孝 鈴木 康之 杉田 雅樹	梅村 正裕 寺田 壽孝	山内 隆一 池田 正
2	会長エレクト 副幹事 副幹事 クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	柴田 芳孝 太田 成紀 服部 良男 宮本 隆	☆ 天野 勝美 孕石 邦雄 ☆ 杉浦 敏夫 鈴木 万衛	渡辺 要市 澤田 守弘	加納 一弘 谷澤 茂樹 近藤 正行 伊藤 慎一 那須 伸和 深津 澄男 池田 憲治	小林 清文 藤井 悟 杉山 正章 柴田 健吉 橋本 義紀 河内 廣行 原田 耕平 手嶋 明
3	職業奉仕委員長	有賀 健	村上 雅則	大久保 武	間瀬 順一	稲葉 雅彦
4	社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長	天野 恵一 岩瀬 敬紀	早川 文喜	近藤 千雅	野場 基 太田 昌宏	新浪 勝也 小出 元治 楳山 良三
5	国際奉仕委員長 青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長	加藤 博巳 南部 淳	神谷 典之	中根 克弘 鈴木 博文	川澄 浩一	稲垣 寿
6	新世代委員長 ローターアクト委員長 インターアクト委員長 RYLA委員長	浅井 章 藤原 正寛 杉本 知治 櫻井 敬子	* 坪井 敦也 中根 富夫 清水 伸吉 清水 伸吉	小野 正富 福尾 清 岡田 庄麿	岡本 勲夫 土屋 孝介	梅村 順一 宇野 弘隆 青山 俊次
7	ロータリー財団委員長	松原 広幸	松井 勇	伊藤 恭弘	服部 潤一	安川 政男
8	米山奨学委員長	同前 仁史	丸井 俊裕	高橋 賢司	皿井 寛	中川 和広

分科会	次期クラブ役職	豊田東	岡崎城南	豊田三好	豊田中
1	会長 副会長 副会長 幹事 会計	浅井 恒和 加藤 連治	岡田 吉生 桐 利次	中野 喜之	小島 哲夫 桜井 博
2	会長エレクト 副幹事 副幹事 クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	澤田 文雄 加藤 勝美 山田 守男 永野 卓司	市橋 伸夫 宮島 好弘 長野 哲也 (代)鈴木 豊	増田 道郎 近藤 純子	☆ 石黒 元隆 原田宗三郎 中條 善朗 羽根田邦彦 中山 憲和 原田 忠泰 塚田 和也 小野 朝康
3	職業奉仕委員長	杉浦 英昭	岩崎 孝三	杉浦 隆宏	中垣 幸春
4	社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長	神谷 重雄 鈴木 基之	小林 政則 青山 幸市 山本 剛司	深谷 勝善	小久保茂樹 太田 昌孝
5	国際奉仕委員長 青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長	鈴木 博之 鈴木 孝治	牧 勝	近藤 隆治	* 伊藤 敦夫 大塚 哲夫 大塚 哲夫
6	新世代委員長 ローターアクト委員長 インターアクト委員長 RYLA委員長	☆ 都築 義勝 横山 克則	倉橋 保 九鬼 義弘 高橋 晶夫	石川 道男	加藤 照夫 梅村 公代 鈴木 純子
7	ロータリー財団委員長	福岡 治	近藤 憲康	村上ふさ子	鈴木 雅量
8	米山奨学委員長	服部 基一	犬塚 浩	野山 彰	☆ 伊藤 敦夫



# 出席者名簿(8/8)

(敬称略)

\* クラブ内兼務 ☆ 地区委員会兼務

## 西三河分区【9R.C.】

分科会	次期クラブ役職	刈谷	安城	西尾	碧南	一色
1	会長 副会長 幹事 会計	岡本 巧 鬼頭 勝彦 神野 公秀 ☆ 吉原 孝彦	石原 昭 川合 昭道 水野 学 杉本 汎平	☆ 榊原 勝俊 稲垣 良次 加藤 典男	鈴木 並生 原田 達八 棚田 道和 奥谷 弘和	牧野 伸治 篠田 義隆 鳥居 光 小林 敏宏
2	会長エレクト 副幹事 クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	☆ 太田宗一郎 杉浦 文雄 嶋津 孝久 ☆ 市川 裕大 塚本 幸夫 鈴木文三郎	香名 令亨 奥田 法行 (代)石川 博 山口 佳久 成瀬 介宣	* 筒井 兼之 柴田 高広 筒井 兼之 鳥山 欽示 平田 兼久 原田 保男	奥田 雪雄 新美 宗和 石川 春久 亀山 裕一 杉浦 昌裕 石橋 嘉彦	* 山下 民義 小出 道治 山下 民義 小池 孝 都築 勇一 都築 勇一
3	職業奉仕委員長	杉浦世志朗	藤井 英樹	(副)犬塚宣明	(副)木村徳雄	山下 保彦
4	社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長	鈴木 豊 井元 良彦	戸谷 央 小林 逸朗	近藤 峰男	平岩 辰之 杉田 茂	鈴木 茂朗 * 鈴木 茂朗
5	国際奉仕委員長 青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長	加藤 真治	小林 逸朗	黒田 正志	長田 昌昇	杉田 亘恭
6	新世代委員長 ローターアクト委員長 インターアクト委員長 RYLA委員長	野村紀代彦	石川 義典	杉浦 明博	新美 惣英	* 杉田 亘恭
7	ロータリー財団委員長	加藤 哲也	(代)河合利政	松井 康	岡田 越勇	* 杉田 亘恭
8	米山奨学委員長	毛受 豊	清水 正幸	(副)齊藤 貢	杉浦 健次	* 杉田 亘恭

分科会	次期クラブ役職	高浜	知立	西尾KIRARA	三河安城
1	会長 副会長 幹事 会計	奥野 暁 笠松 栄治 高桑 雄司 中村さと子	杉浦 知博 宮地 俊夫 高木 秀夫 武藤 充廣	高須 勻 小林 豊	森田 勝己 大見 育太 鳥居 剛育 田村 脩
2	会長エレクト 副幹事 クラブ奉仕委員長 会員増強委員長 広報委員長 ロータリー情報委員長 ロータリー研修委員長	野々山貴文 宮田 克弥 森田 仁 都築 求 浅岡 憲隆	早川 高師 倉田 英行 神谷 太一 渡辺 浩二 野村 賢孝 山田 哲夫	岩瀬 一 堀田 義之	阿部 光廣 川浦喜久雄 小西紀久雄
3	職業奉仕委員長	桂川 兼行	大橋 均	高須 良一	高場 善郎
4	社会奉仕委員長 RCC委員長 環境保全委員長	野々山光秋	清水 健次 天野 光宏	(副)青山弦八	(副)山本彰秀
5	国際奉仕委員長 青少年交換委員長 世界社会奉仕(WCS)委員長	神谷 昌彦	早川 岩男	山本 裕充	杉浦真理子 待田 清
6	新世代委員長 ローターアクト委員長 インターアクト委員長 RYLA委員長	杉浦 浩一	大辻 明	(副)鈴木善和	堀本 保美 植村 律保
7	ロータリー財団委員長	杉浦 義尚	加藤 久和	下谷 七郎	(代)稲垣善朗
8	米山奨学委員長	(副)神谷治之	杉原 透恭	(副)米津長治	(代)岡崎重太郎



# 一般会員出席者名簿

(敬称略)

## 知 多

千賀 貴彦 (第4分科会)

## 津 島

山本 達彦 (第4分科会)

野々山勝也

片岡 鉄

堀田 力男

## 稲 沢

田島 昊 (第5分科会)

## あ ま

家田 安啓 (第3分科会)

大竹 敬一

兄玉 憲之

## 名古屋清須

水野 鉄夫 (第5分科会)

## 瀬 戸

青山 稔 (第6分科会)

角 隆治

## 名古屋空港

井上 麻貴 (第2分科会)

稲吉 將秀

北園 守生

田邊 雅彦

水谷 文昭

## 岩 倉

臼井和香奈 (第2分科会)

## 愛知長久手

中川 清子 (第2分科会)

大沢 茂樹

富田 盛義

カルナータナ

田邊 真悟

田中 孝明 (第3分科会)

小谷 恒夫 (第6分科会)

## 名 古 屋

平松潤一郎 (第4分科会)

細谷 孝利

草場 信也

鐘 政良

水野 一樹 (第6分科会)

熊澤 宏昭

林 左希也

## 名古屋東南

水野 裕 (第4分科会)

## 名古屋中

神谷 裕之 (第2分科会)

服部 三郎

近藤 直樹

倉持 高久

福井四郎兵衛 (第5分科会)

## 名古屋大須

川畑 博敬 (第3分科会)

鬼頭 茂成

## 名古屋名南

佐々木元彦 (第5分科会)

## 名古屋守山

山田 静夫 (第4分科会)

## 名古屋千種

加藤 顕 (第2分科会)

佐々木敏夫

## 名古屋葵

小笠原嘉彦 (第1分科会)

加藤寛治郎 (第2分科会)

柴田 考 (第5分科会)

小玉 忠雄 (第6分科会)

## 豊 橋 北

松原 博 (第4分科会)

## 田 原

磯下 裕史 (第2分科会)

宮崎 三佳

富田 弘司

堀尾 恭司

藤井 國弘 (第8分科会)

## 豊 田 西

小島 章次 (第2分科会)

服部 信康

## 岡 崎 東

坂野 弘 (第6分科会)

小林 健一

## 豊 田 中

宇野 修市 (第2分科会)

鈴木 肇太

延原 哲

河原 申治 (第8分科会)

## 碧 南

角谷 信二 (第2分科会)

杉浦 栄次

## 中部名古屋みらい

川口 豊 (第1分科会)

藤田 定

亀島 深里

小出 真弓 (第2分科会)

宮下 恵子

Kuong Teilee (第5分科会)

古橋 武之 (第7分科会)

## 名古屋名駅

安達 正信 中野 征助

青島 邦夫 根石 廣正

浅井 泰夫 丹羽 俊文

江川 建男 小原 新一

服部 清純 大橋 誠之

林 直紀 大橋 昭治

日比野三吉彦 大川 宏

土方 周二 大塚 芳雄

平野 幹雄 岡本 敏男

久田 勘鷗 岡村つね子

細井 俊彦 奥田 求

飯田 容子 齋藤 孝一

池永 秀夫 佐藤 修

生田 芳規 志田 威

石黒 隆 清水 順二

神保 成智 杉本 和英

片山 勝久 隅田 耕市

加藤 清 鈴木 次郎

加藤 定伸 高田 秀夫

萱垣 建 田中 修

北村 悦成 谷岡 諭

小林 勉 寺島 洋治

小林 泰敏 友田 喜夫

小室健次郎 矢田 武男

河野 英雄 山内 邦宏

小崎 誠三 吉井 一人

暮石 彰 市川 観自

黒川 益次 市来 保秀

前田 幸雄 鎌屋 克利

松浦 幸信 川島征一郎

宮前 隆文 水尾 健一

盛田 兼由 江澤紳二郎

永盛 友章 西岡 良洋

長坂 洵二 米坂みよ古

中野 圭介

## 当日登録

## 尾張中央

安藤 銚悟 (第2分科会)





## 分区・クラブ別登録および出席者数一覧(1/2)

※登録者数にVIPは除く

	クラブ名	クラブ創立年月日	会員数		会員数		会員数		一般
			2009年 3月末日	登録数	ガバナー関係 (招待)	リーダー他	地区委員	クラブ役職者	
南尾張分区	半田	1951年 (S26) 6月6日	62	19	1	0	2	17	0
	常滑	1966年 (S41) 6月11日	50	14	0	0	1	13	0
	東海	1969年 (S44) 5月9日	60	19	0	1	3	15	0
	東知多	1969年 (S44) 6月13日	28	14	0	0	3	11	0
	半田南	1980年 (S55) 2月25日	48	16	0	0	4	12	0
	知多	1988年 (S63) 1月8日	24	16	0	0	0	15	1
	大府	2003年 (H15) 4月23日	20	10	0	0	0	10	0
	7RC		292	108	1	1	13	93	1
西尾張分区	一宮	1949年 (S24) 12月31日	85	20	0	1	1	18	0
	津島	1953年 (S28) 6月22日	75	21	0	0	1	16	4
	尾西	1955年 (S30) 12月17日	25	18	0	1	0	17	0
	一宮北	1963年 (S38) 6月30日	45	12	1	1	0	11	0
	稲沢	1963年 (S38) 12月6日	57	19	0	0	3	15	1
	あま	1969年 (S44) 6月23日	89	23	1	1	4	15	3
	名古屋清須	1975年 (S50) 11月3日	38	20	0	1	2	16	1
	尾張中央	1984年 (S59) 1月30日	42	19	0	0	3	15	1
	一宮中央	1990年 (H2) 11月16日	49	19	0	1	3	15	0
	9RC		505	171	2	6	17	138	10
東尾張分区	瀬戸	1959年 (S34) 9月11日	80	20	0	0	3	15	2
	犬山	1961年 (S36) 11月6日	78	16	0	0	2	14	0
	江南	1965年 (S40) 6月25日	50	19	1	1	1	17	0
	小牧	1968年 (S43) 2月1日	41	24	1	4	4	16	0
	春日井	1969年 (S44) 5月1日	56	18	0	1	4	13	0
	尾張旭	1971年 (S46) 2月11日	28	13	0	0	0	13	0
	名古屋空港	1974年 (S49) 8月31日	56	23	1	1	3	14	5
	瀬戸北	1978年 (S53) 12月7日	70	18	0	0	2	16	0
	岩倉	1979年 (S54) 5月18日	21	11	0	0	0	10	1
	名古屋城北	1986年 (S61) 3月24日	25	18	0	1	3	14	0
	愛知長久手	2003年 (H15) 2月1日	22	22	0	1	1	13	7
	11RC		527	202	3	9	23	155	15
西名古屋分区	名古屋	1924年 (T13) 12月17日	186	25	2	0	1	17	7
	名古屋西	1954年 (S29) 2月5日	105	17	0	0	2	15	0
	名古屋南	1957年 (S32) 4月1日	118	21	0	1	4	16	0
	名古屋みなと	1966年 (S41) 5月12日	67	16	0	1	3	12	0
	名古屋東南	1969年 (S44) 3月12日	93	18	1	1	1	15	1
	名古屋中	1969年 (S44) 10月13日	133	31	1	2	6	18	5
	名古屋瑞穂	1980年 (S55) 1月21日	71	22	0	1	4	17	0
	名古屋大須	1985年 (S60) 2月12日	64	25	0	2	5	16	2
	名古屋栄	1990年 (H2) 5月1日	77	17	0	0	2	15	0
	名古屋名南	1991年 (H3) 3月8日	70	17	0	1	0	15	1
	名古屋名駅	1991年 (H3) 4月17日	89	89	0	0	5	15	69
	名古屋丸の内	1995年 (H7) 3月28日	50	19	0	1	2	16	0
	12RC		1,123	317	4	10	35	187	85

## 82RC分科会別登録および出席数一覧

分科会	総数 (人)	特別出席者		地区 委員	クラブ 役職者	一般
		ガバナー関係	リーダー他			
第1分科会	317	5	12	10	289	1
第2分科会	443	3	11	36	363	30
第3分科会	99	1	4	10	78	6
第4分科会	173	1	7	22	131	12
第5分科会	112	1	6	17	83	5

分科会	総数 (人)	特別出席者		地区 委員	クラブ 役職者	一般
		ガバナー関係	リーダー他			
第6分科会	157	1	7	31	109	9
第7分科会	122	2	10	31	79	0
第8分科会	87	1	*8	4	72	2
その他	69					69
集計	1579	15	65	161	1204	134

82RC (中部名古屋みらいRCを含む)

※その他：名古屋名駅RC出席義務者以外

\* 米山学友を含む



## 分区・クラブ別登録および出席者数一覧(2/2)

※登録者数にVIPは除く

	クラブ名	クラブ創立年月日	会員数		会員数		会員数		一般
			2009年 3月末日	登録数	ガバナー関係 (招待)	リーダー他	地区委員	クラブ役職者	
東名古屋分区	名古屋北	1959年 (S34) 6月17日	92	17	1	2	1	14	0
	名古屋東	1959年 (S34) 6月30日	92	17	0	1	0	16	0
	名古屋守山	1964年 (S39) 5月7日	57	15	0	1	3	10	1
	名古屋和合	1972年 (S47) 4月2日	100	19	0	1	4	14	0
	名古屋名東	1978年 (S53) 6月30日	51	19	0	1	1	17	0
	名古屋名北	1981年 (S56) 3月26日	47	16	0	2	1	13	0
	名古屋千種	1982年 (S57) 8月24日	50	19	0	0	1	16	2
	名古屋昭和	1992年 (H4) 5月29日	52	16	0	0	0	16	0
	名古屋錦	1996年 (H8) 4月23日	35	10	0	0	1	9	0
	名古屋東山	1996年 (H8) 10月10日	49	17	0	0	3	14	0
	名古屋葵	2005年 (H17) 6月8日	29	17	0	0	1	12	4
11RC			654	182	1	8	16	151	7
東三河分区	豊橋	1950年 (S25) 8月26日	120	26	1	0	10	16	0
	蒲郡	1954年 (S29) 4月22日	55	17	0	1	2	14	0
	豊橋北	1957年 (S32) 5月20日	87	19	0	0	3	15	1
	豊川	1959年 (S34) 3月12日	64	31	1	14	4	13	0
	田原	1961年 (S36) 4月20日	54	20	0	1	0	14	5
	豊橋南	1966年 (S41) 5月12日	61	16	0	1	1	14	0
	新城	1967年 (S42) 5月25日	52	18	0	0	1	17	0
	渥美	1969年 (S44) 4月26日	35	13	0	0	0	13	0
	奥三河	1970年 (S45) 6月15日	17	10	0	0	0	10	0
	豊川宝飯	1986年 (S61) 1月21日	54	17	0	0	1	16	0
	豊橋ゴールド	1988年 (S63) 11月17日	57	20	0	1	3	16	0
	田原パシフィック	1990年 (H2) 8月20日	64	15	0	0	0	15	0
	豊橋東	1996年 (H8) 2月6日	40	16	0	1	2	13	0
	13RC			760	238	2	19	27	186
西三河中分区	岡崎	1951年 (S26) 6月18日	91	25	0	1	3	21	0
	豊田	1961年 (S36) 1月24日	83	23	1	3	5	15	0
	岡崎南	1964年 (S39) 11月12日	96	23	0	0	3	20	0
	豊田西	1970年 (S45) 9月1日	101	25	0	1	3	19	2
	岡崎東	1973年 (S48) 5月2日	61	24	0	0	2	20	2
	豊田東	1980年 (S55) 6月1日	83	20	0	1	1	18	0
	岡崎城南	1989年 (H1) 3月22日	77	21	0	0	0	21	0
	豊田三好	1990年 (H2) 6月19日	23	10	0	1	0	9	0
	豊田中	2000年 (H12) 3月8日	49	24	0	1	2	17	4
9RC			664	195	1	8	19	160	8
西三河分区	刈谷	1954年 (S29) 3月30日	93	20	1	1	5	14	0
	安城	1958年 (S33) 2月6日	59	17	0	0	2	15	0
	西尾	1958年 (S33) 6月13日	75	15	0	0	2	13	0
	碧南	1959年 (S34) 4月8日	78	19	0	0	0	17	2
	一色	1962年 (S37) 12月3日	28	11	0	0	0	11	0
	高浜	1969年 (S44) 2月26日	38	16	0	1	0	15	0
	知立	1991年 (H3) 2月1日	65	18	0	0	1	17	0
	西尾KIRARA	1991年 (H3) 7月26日	55	10	0	0	0	10	0
	三河安城	2000年 (H12) 1月5日	61	17	0	1	1	15	0
9RC			552	143	1	3	11	127	2

地区内クラブ数 82RC (中部名古屋みらいRCを含む)	特別出席者・ガバナー関係(招待)	15名
	特別出席者・リーダー関係他	64名
	地区委員	161名
	クラブ役職者	1,197名
	クラブ一般登録者(当日登録を含む)	134名
	中部名古屋みらいRC・米山学友(招待)	8名
	出席者合計	1,579名



# 2009～2010年度のための地区協議会決算書

## (収入の部)

科 目	予算額	決算額	適用
地区補助金	¥1,000,000	¥1,000,000	
登録料	¥16,200,000	¥18,672,000	登録料 1556名×12000円
ホストクラブ負担金	¥0	¥0	
雑収入	¥50,000	¥0	
昨年度繰越金	¥95,353	¥95,353	
合 計	¥17,345,353	¥19,767,353	

## (支出の部)

科 目	予算額	決算額	適用
1. 指導者会議			
会議費	¥250,000	¥276,646	会議室料金・資料他一式
飲食費	¥200,000	¥153,450	昼食・飲食費
小 計	¥450,000	¥430,096	
2. 地区協議会			
会場費	¥2,550,000	¥2,270,900	会場借料一式
会場設営費	¥3,500,000	¥3,052,995	会場設営一式
会場運営費	¥2,280,000	¥3,264,305	音響・人件費
飲食費	¥3,000,000	¥3,342,000	会員飲食費
友愛の広場	¥1,200,000	¥1,202,250	設営一式
小 計	¥12,530,000	¥13,132,450	
3. 庶務関係費			
登録諸費	¥400,000	¥518,730	名札・タレ札作成等
総務関係	¥650,000	¥1,685,080	テキスト・報告データ等
渉外関係	¥150,000	¥94,108	渉外一式
小 計	¥1,200,000	¥2,297,918	
4. 実行委員会費			
会議諸費	¥1,000,000	¥966,248	実行委員会諸費
事務関係	¥1,500,000	¥1,782,020	人件費・事務所・記録等
小 計	¥2,500,000	¥2,748,268	
5. 雑費	¥250,000	¥347,543	第9分科会キャンセル料含む
6. 予備費	¥415,353	¥0	
7. 会員増強セミナー	¥0	¥429,200	地区主催会議
8. 地区資金へ振戻し	¥0	¥300,000	
9. 次年度繰越金		¥81,878	
合 計	¥17,345,353	¥19,767,353	

2009年7月11日

名古屋名駅ロータリークラブ  
 会 長 大川 宏  
 実行委員長 高田 秀夫



# ご案内

## 地区大会のご案内



2009～2010年度地区大会  
実行委員長  
豊橋ロータリークラブ  
神野 紀郎

皆様、こんにちは。次年度の地区大会の実行委員長を仰せつかりました豊橋RCの神野紀郎でございます。次年度の地区大会は、11月7日(出)・8日(日)に、今年は久しぶりに記念ゴルフ大会をやるということで、明るく日の9日(月)を宛てました。大澤ガバナークラブが理事長をなさっている東海カントリークラブで、大いにゴルフを楽しもう、そして友情をしっかりと築き上げていこうということになりましたので、奮ってご参加頂きたいと思っております。

私共豊橋クラブでは、今、ロータリーの魅力は何か。地区大会が果たす役割は何か。折角豊橋でやるのだから、豊橋らしい地区大会にしたい。それを

実現するにはどうしたら良いか、そして集まって頂く多くの皆さんが感動する、感激する地区大会はどうすれば実現するのか。実行委員会を中心に、日夜侃々諤々議論しております。

私共がホストする、今回の地区大会の最大のセールスポイントは、実は、記念講演でございます。講師は、昨年の小泉純一郎さんのようにメジャーではなく、多分、ここにお集まりの方の大半がご存知ない方も知れませんが、静岡文化芸術大学学長の川勝 平太さんで、これからの日本を代表する文化人だと思っております。彼は、この閉塞した今の日本の社会をどう克服していけば良いか、そして今後、日本はどうあるべきか、そのために地域のリーダーは、あるいは企業経営者はどうあるべきなのか。これらの問いに対してしっかりと示唆してくれると思っております。どうぞ、ご期待頂きたいと思っております。

豊橋RC、120人の会員と夫人が皆様のお越しを心からお待ち申し上げております。どうぞ奮ってご参加下さい。有難うございました。

### 2009～2010年度地区大会のご案内

- ◎ガバナー 大澤輝秀 (豊川ロータリークラブ)
- ◎開催月日 平成21年11月7日(土)・8日(日)・9日(月)
- ◎ホストクラブ 豊橋ロータリークラブ
- ◎開催場所 大会第1日目 名豊ビル ホール  
ホテルアークリッシュ豊橋
- 大会第2日目 豊橋市総合体育館
- 大会第3日目 ゴルフ大会：東海カントリークラブ

## 2010～2011年度のための地区協議会のご案内



ホストクラブ 会長エレクト  
豊橋北ロータリークラブ  
羽田 明弘

次年度地区協議会ホストクラブを務めることになりました豊橋北RC会長エレクトの羽田明弘と申します。本日、地区協議会のホストクラブを務めら

れました名古屋名駅RCの会長・実行委員長、そして会員の皆様、大変ご苦労様でございました。今後、何かとご指導頂くことがあるかと思っておりますが、どうぞ宜しくお願い致します。

豊橋北RCは創立53年。会員数84名の東三河分区のクラブでございます。この度、地区協議会ホストという大任を頂き、大変光栄に思っております。

次年度地区協議会は、来年4月18日(日)、ホテル日航豊橋で開催致します。豊橋北RC、会員一同、総力を挙げてホストを務めさせていただきます。皆様方のご支援と多数のご参加をお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。どうも有難うございました。

### 2010～2011年度のための地区協議会のご案内

- ◎ガバナーエレクト 田嶋好博 (名古屋北ロータリークラブ)
- ◎開催月日 平成22年4月18日(日)
- ◎ホストクラブ 豊橋北ロータリークラブ
- ◎開催場所 ホテル日航豊橋



## あとがき

2009～2010年度のための地区協議会は、去る4月19日（日）名古屋国際会議場にて、地区役員はじめ各クラブより多数の出席を得て、無事終了することができました。これも各クラブのご協力ご支援の賜物と、この場をお借りしてお礼申し上げます。

名古屋名駅ロータリークラブは、創設18年目のまだ若いクラブであります。今回ホストクラブとしてお手伝いできたことを誇りに思い、光栄に存する次第です。

さて今回の協議会では、準備の途中で新入会員の出席義務が除外されたことにより、登録料を上げざるを得ず、皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。しかし予定よりも多数の登録をいただいたことにより、より充実した報告ができたことを感謝申し上げます。

また地区の会員増強セミナーが地区協議会終了後に開催されることになり、地区協議会のプログラムも従来よりも1時間短縮となりました。そのため分科会の時間が充分であったか不安が残りましたが、充実した報告を拝見し、安堵しました。

さらに今回、大澤輝秀ガバナーエレクトの要望で、報告書が紙ベースではなくデータベースとなりましたが、これを機にロータリーのIT化がさらに進展することを願っております。

今回の会場は久しぶりに名古屋国際会議場とさせていただきましたが、会場が広く複雑で分かりにくいのではと懸念いたし、事前に現地での視察検討会を重ね、当クラブ全員参加でご案内させていただきました。比較的スムーズに進行できましたのも、皆様のご指導のおかげと感謝いたしております。

最後に次年度の各クラブと地区協議会の運営が成功裏に行われますことを念じつつ報告のあとがきといたします。



2009～2010年度 国際ロータリーのテーマ

——— 地区のテーマ ———

**職業奉仕がロータリーの基盤**

---

国際ロータリー第2760地区

2009～2010年度のための

地区協議会

ホストクラブ：名古屋名駅ロータリークラブ

---